

一般生活者におけるTPP賛成 / 反対態度の根底にある  
意識構造の解明（報告書）

---

平成23年3月

社団法人 **中央酪農会議**

サンプル数 300 (スクリーニング時5000)

調査エリア 全国

対象者 20 - 60代男女

割付 TPP理解者 / 賛成 75  
TPP理解者 / 反対 75  
TPPその他 / 賛成 75  
TPPその他 / 反対 75

調査手法 フリーアンサーを多く含むインターネット調査

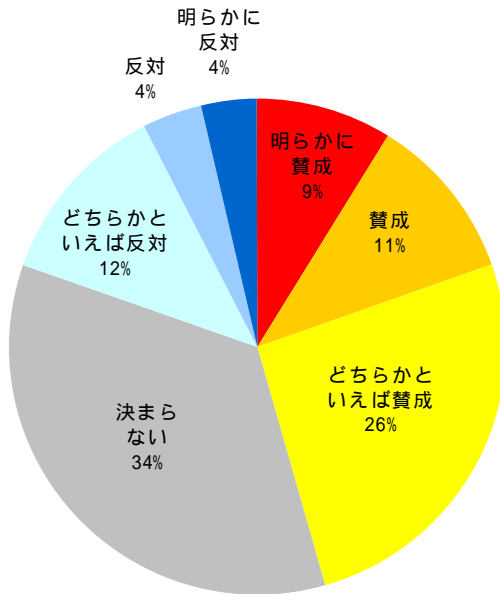
日程 2 / 18 (金) - 20 (日)

基礎データ

# 本調査対象者のTPP賛否と理解

## TPP賛否

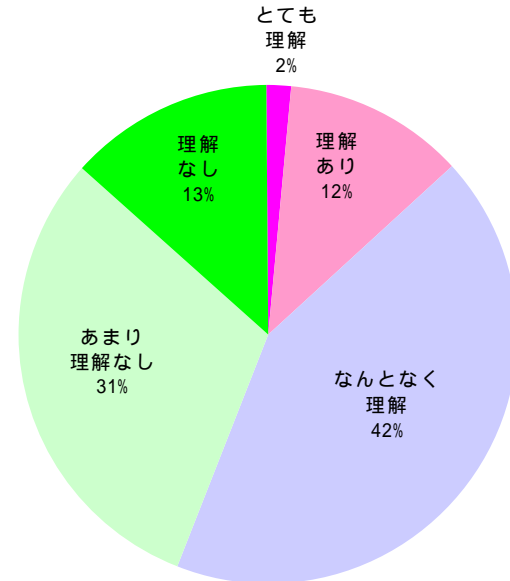
上記のTPPに日本が参加することについて、あなたは賛成ですか、反対ですか。現状、TPPについてよく理解をされていない方も、ご自身の思い込みや、なんとなくのイメージ・気分で結構ですので、



賛成が5割弱、反対は2割

## TPP理解

現在のあなたは、上記のTPPに日本が参加することで、あなたが受けるメリット/デメリットをどれくらい理解していますか。



明確に理解は14%、4割強は理解無し

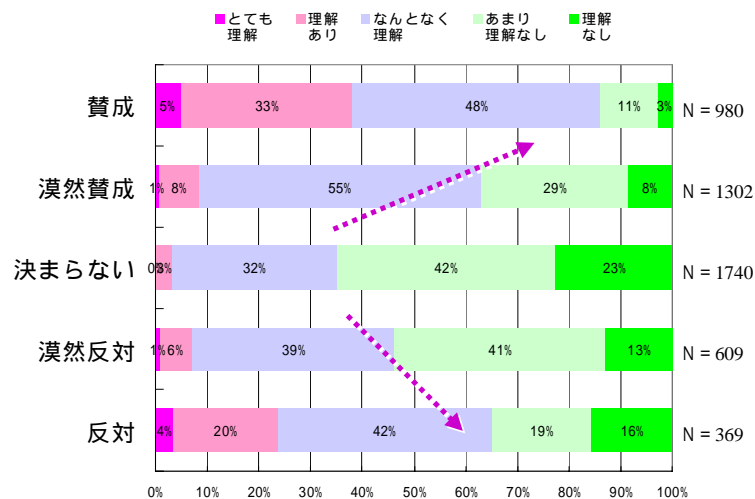
N = 5000

# 本調査対象者のTPP理解 × 賛否

TPP理解

現在のあなたは、上記のTPPに日本が参加することで、あなたが受けるメリット/デメリットをどれくらい理解していますか。

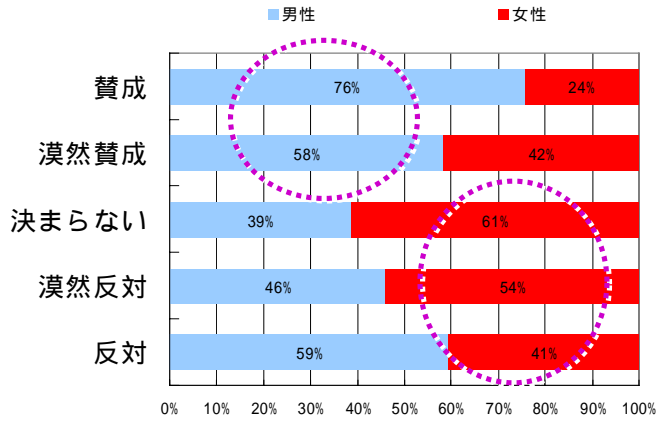
TPP賛否



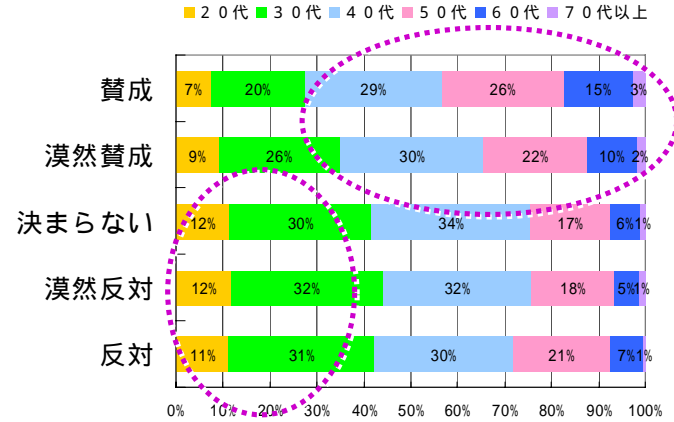
当然ながら、賛成反対が明確な人ほど、理解を自認。  
賛成派のほうが、理解の自認意識が強い。

# 本調査対象者のTPP賛否×デモグラフィック

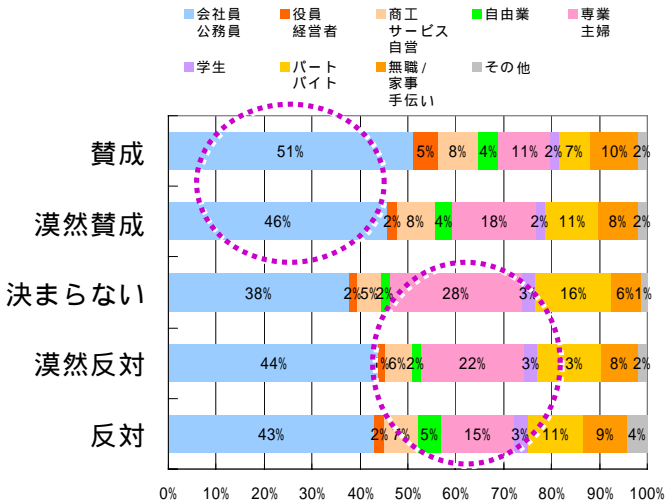
TPP賛否



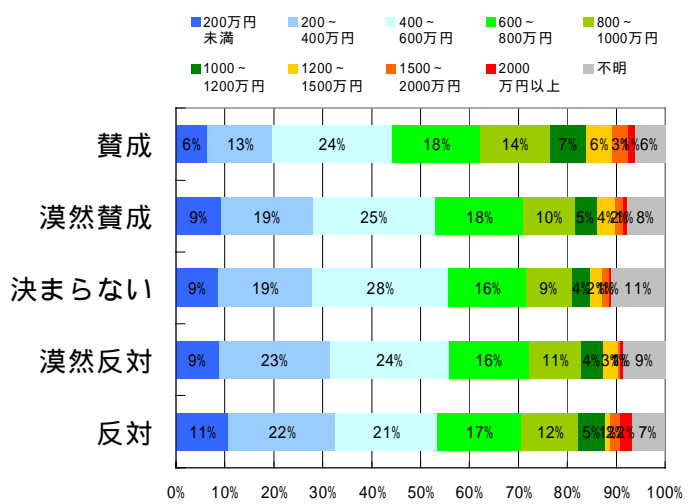
TPP賛否



TPP賛否



TPP賛否

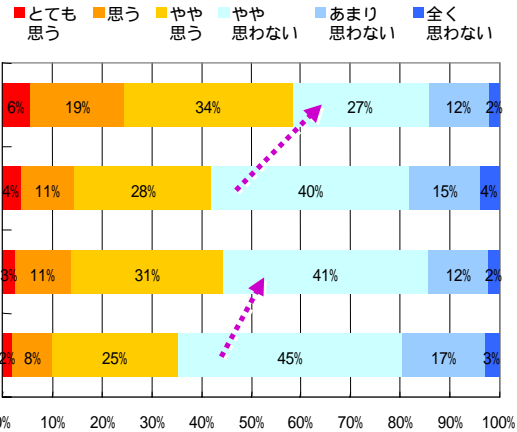


生活者のTPP賛成 / 反対態度形成に  
影響を与える「意識」の特定、その

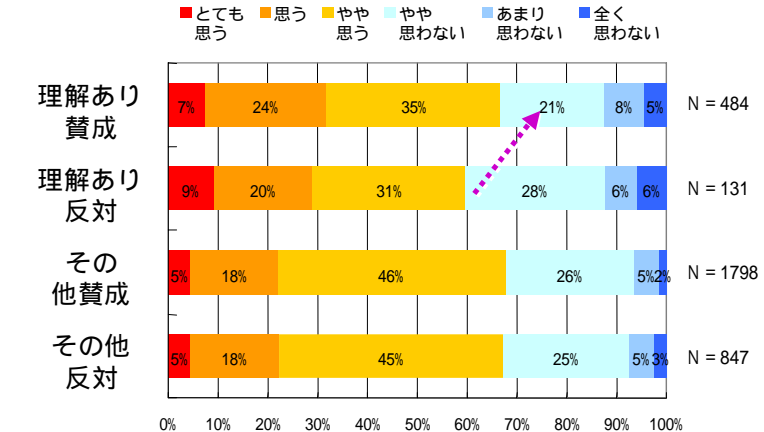
日本の社会構造に関する意識

TPP賛否×理解

たとえ国や政府からあまり保護されなくても、国民(自分)が自由であるほうがよい。



たとえ国や政府から自由をやや制限されても、国民(自分)が外部の脅威から守られるほうがよい。



自由と保護の二律背反構造を提示すると、  
TPP賛成層ほど、自由志向が強い。

でも、

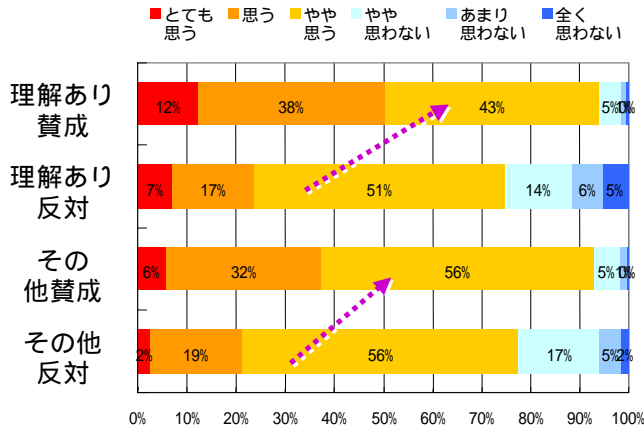
どの層においても、基本は保護志向のほうが明確に強く、  
その意味で、TPP賛成層(特に理解あり賛成層)は、  
都合のよい、論理的には矛盾した意識の持ち主。



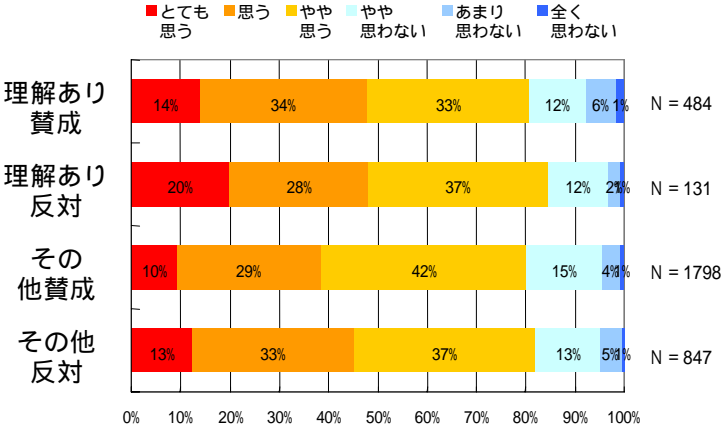
# 「自由競争」と「社会の二極化」について

TPP賛否×理解

自由競争は、よいことだ。



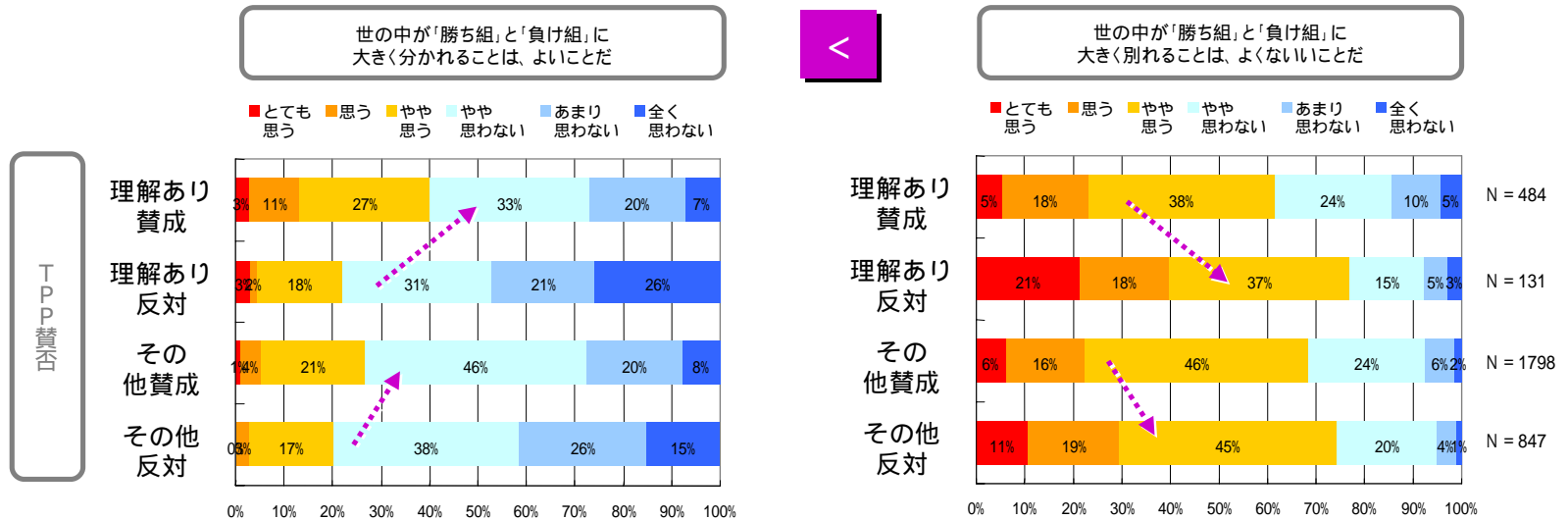
自由競争がすすむと、世の中が「勝ち組」と「負け組」に大きく分かれると思う。



自由競争に対しては、肯定派が大勢を占める。  
 その中でも、TPP賛成層は「明確な肯定」の意識を持つ

その一方で、  
 多くの生活者は、自由競争の進展が、  
 社会を「勝ち組」と「負け組」に二極化している。

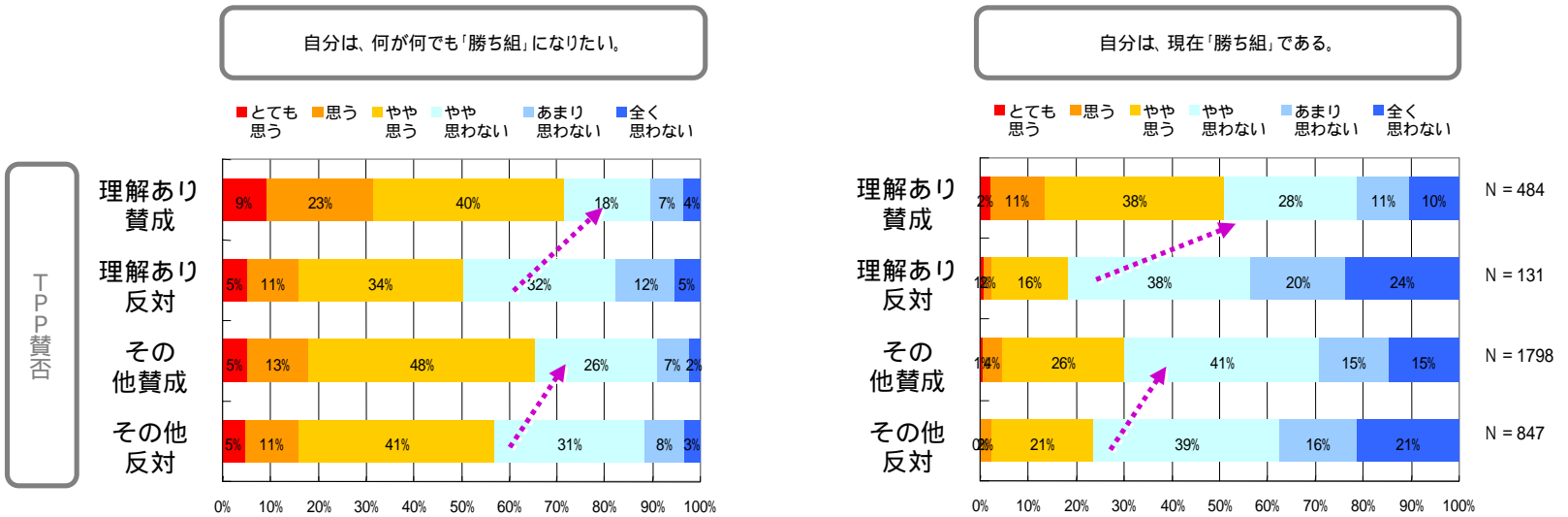
# 自由競争と勝ち組 / 負け組社会



TPP賛成層ほど、社会が「勝ち組 / 負け組」に二極化することに、より肯定的。  
 TPP反対層ほど、社会が「勝ち組 / 負け組」に二極化することに、より否定的。

ただし、どの層においても  
 「勝ち組 / 負け組」の社会構造については、否定意識のほうが強い。

# 勝ち組 / 負け組の意識



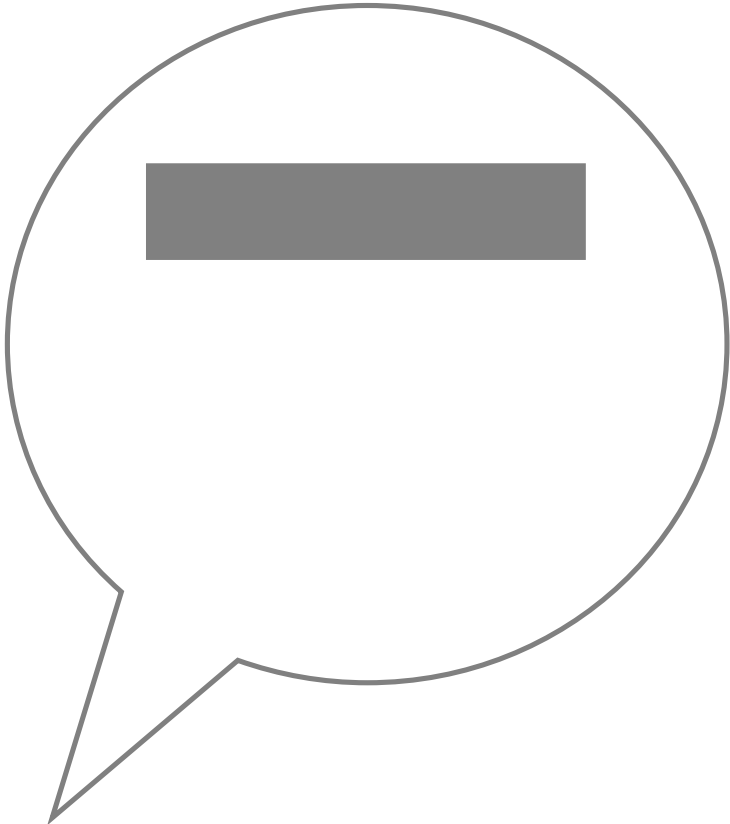
TPP 賛成層は、「勝ち組 / 負け組」の社会構造はよくないけど  
 そのなかで、自分は何が何でも勝ち組になりたいと強く思う  
 利己的な傾向が強い人。

TPP賛成層はTPP反対層に比べて「自由を求める意識」が比較的強い。しかし、総論的には、どちらの層においても「保護してほしい意識」のほうが明確に強く、その意味で、TPP賛成層(特に理解あり賛成層)は、より都合のよい(論理的には矛盾した)意識の持ち主。

TPP賛成層はTPP反対層に比べて自由競争を肯定。その一方で、どちらの層においても、自由競争は社会を「勝ち組」と「負け組」に二極化するという認識は高く、社会が「勝ち組」と「負け組」に二極化することに関しては、どちらの層も否定的(ここでもTPP賛成層は、やや矛盾した意識の持ち主)。

TPP賛成層はTPP反対層に比べて、「何が何でも勝ち組になりたい」という意識が高く、「自分は勝ち組」という意識も高い点で、特徴的に利己的な傾向を持っていることが分かる。

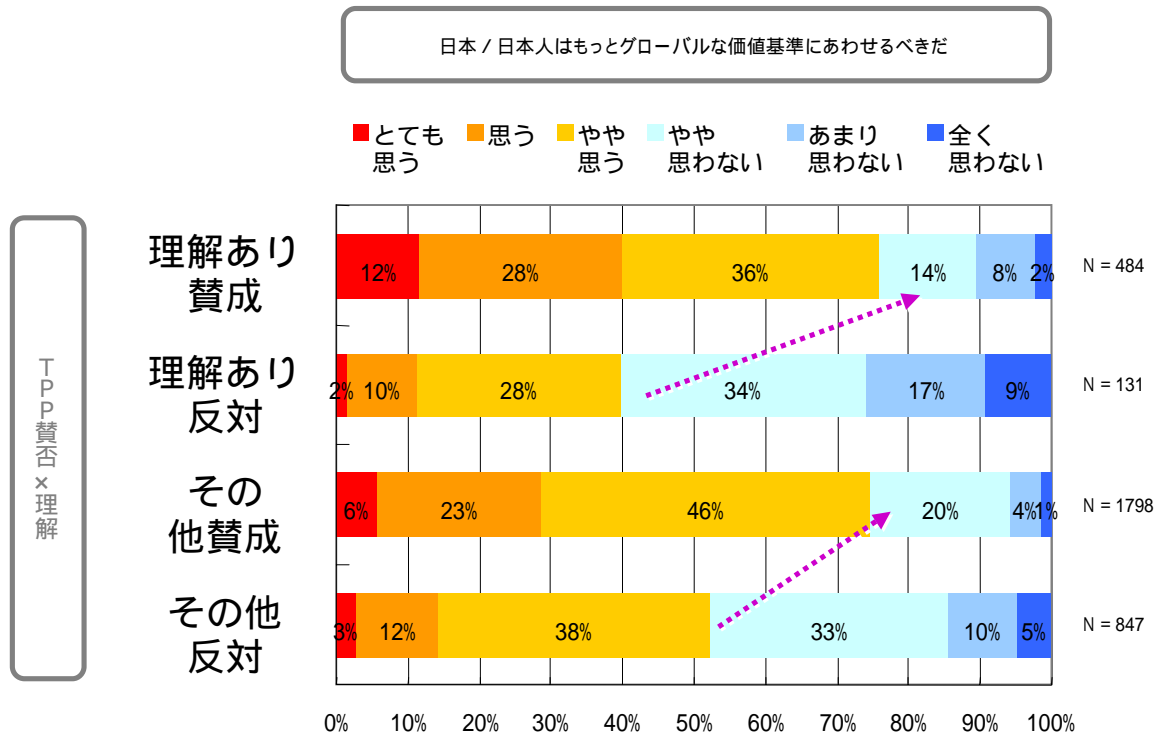
TPP賛成層は、全体論、観念論ではなく、  
彼らの欲目・損得と関係する話をしないと聞く耳をもたない。



生活者のTPP賛成 / 反対態度形成に  
影響を与える「意識」の特定、その

世界との関係意識

# 「日本 / 日本人のグローバル化」について



TPP 賛成層は TPP 反対層に比べて  
「日本 / 日本人のグローバル化」に対して肯定的。

# 「日本 / 日本人のグローバル化」について / コメント

## グローバル化肯定意見

- 20代女 日本から出て行かない人が多い  
20代女 遅れていくから  
20代女 今までと同じままでいれば確実に世界から取り残されると思ったから。  
20代男 視野が狭い  
20代男 世界に目を向けなさ過ぎている  
30代女 国内消費は落ち込んでおり、高齢化が進むため、国際感覚を身につけて商売してゆかないといけないから  
30代女 日本の常識だけだと国際的に弱くなってしまいそう  
30代女 日本人は内にこもってしまって、自分たちのルールだけで行動しているように感じる  
30代男 国内での経済活動が停滞しており個人消費も伸びない中、日本の産業が衰退する恐れがあり、グローバルな視点でものづくりやサービスの提供を考えていく必要があると思うので。  
30代男 グローバル経済において、貿易における為替等の国際ルールは出来るだけ基準を合わせるべきだ。  
30代男 どうも日本は遅れてると思うので。  
40代女 日本人はこれからの時代、もっと広い世界に目を向け、日本国内だけを見て物事を判断することなく挑戦し、成長していく必要があると思う。  
40代女 内にはばかり目を向けすぎ

- 40代男 世界的な視点から見ても日本が持つ力(技術など)は大きいので、その力を使ってもっと大規模なプロジェクトに取り組むべきだと思う。その規模が大きくなるほど、やはりグローバルな考え方が必要になる。  
40代男 思考が閉鎖的すぎるので  
40代男 今後、日本が低成長もしくはマイナス成長に陥りそうだから。  
50代女 島国根性で、やはり日本の常識は、世界の非常識的なところがあるので。  
50代女 いつまでも島国根性が抜け切れていないから 経済大国と言われてきたが、金を出しても意見が言えない情けない日本人 世界の価値観をもっと吸収消化しなければならぬ。  
50代男 良い悪いは別として、人口減少社会の日本が活力を維持していくためには、今まで以上に海外市場を重視していく必要があり、そのためには、日本の価値基準を大事にしながらもグローバルな発想、多国間との貿易のさらなる発展が大事になる。  
50代男 日本が発展していくためには、世界的な視点にたった価値が必要だと思います。もっと、いいものを世界に出していくためにも  
60代男 日本人は島国育ち...その常識は世界的に非常識と思われることも多い。日本人は自ら優秀と過信している感じもある。世界は広い、もっと弾力的に世界に目を向けるべき島国根性が国際化推進にやや消極的である。  
60代男

## グローバル化否定意見

- 20代女 日本は日本で独自の価値基準があり、海外からみた日本のイメージも悪いものではなく、「日本」というブランドのような特徴が確立されつつあると思うから。  
20代女 グローバルな考えというのは結局GDPの高い国の価値観に合わせていくことなので、そのような感覚や考え方に追従するべきではないと思うから。  
20代女 日本は、世界中の中で日本だけの良いところがある。「いただきます」「ごちそうさま」「もったいない」など、外国語で訳せないなど...日本は「日本」で良い。グローバルな価値基準にあわせなくていい  
20代男 日本独自の価値観を大事にしていくべきだと思うから  
20代男 日本人はグローバル、グローバルと気にしすぎだと思う  
30代女 日本らしさがなくなるから  
30代女 グローバルな価値基準というもの自体があいまいすぎるし、そのグローバルな価値基準というのは欧米基準すぎないかと疑問。日本人は良い意味でも悪い意味でもガラパゴス的なのが日本人なのではないかと考えているので、グローバルな価値基準を基準にしてしまえば日本としてのアイデンティティが失われてしまわないか心配。  
30代男 日本の特色を曲げてまで海外の基準に合わせる意味がない 日本が清潔で安全な国とされているのは何故か考え安易なグローバル化はやめるべき  
30代男 なんでもかんでもグローバルが正しいという風潮があるが、本当にそうか？間違ったグローバル思考は国内産業を衰退させ、人件費の安い国へのアウトソーシングが主となりやがて日本の技術は海外に流出し日本の技術は衰退する。  
40代女 外国の風潮にいたずらに流される根無し草になってほしくないから。日本人は日本人であることをもっときちんと意識したい。

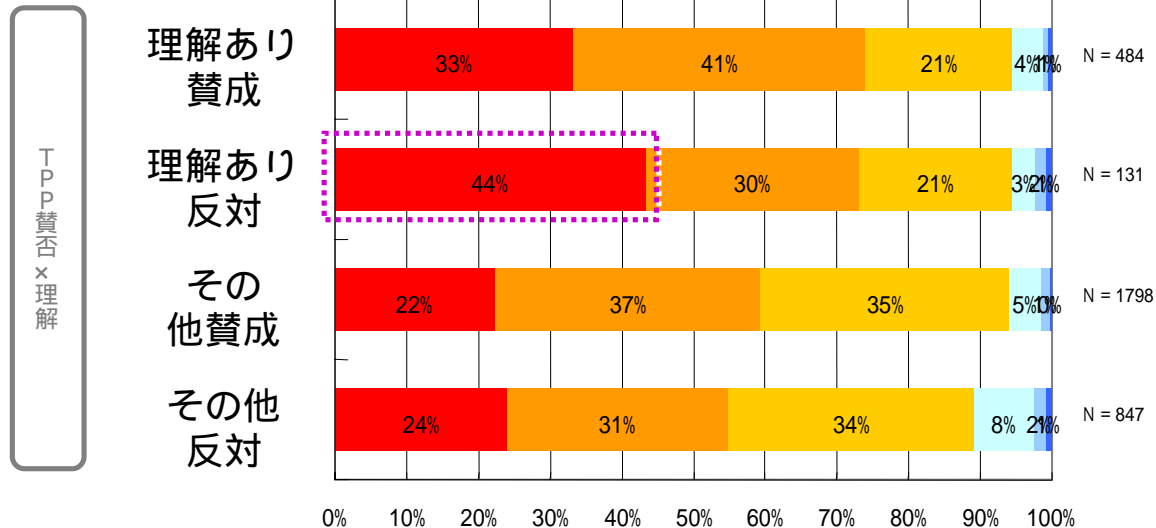
- 40代女 グローバルなものも無個性なものと同義語だと思う。別にグローバルが全てで正義ではない。日本の良い点に目を向け直すところは直す感覚で良いと思う。マンガにしても最初からグローバルを目指していたら世界に広がらなかったと思う。  
40代女 世界に出て行くことは大事だと思っている。多国籍企業には賛成。ただ、いろいろな契約ごとに関しては慎重すぎるぐらいでちょうどよいと思う。特に農業や漁業は国がしっかりと対処しないと大変なことになりそうな気がする。  
40代男 以前アメリカナイズした会社はほとんど失敗しています  
40代男 アメリカ追随型の社会経済の発展により、日本古来の文化や伝統が失われている  
40代男 ルールを守るのは結局まじめな日本人だけで、外国はルールをどんどん自国に有利に変更する。日本は永久に不利。  
40代男 小泉政権時代以降、グローバル化を目指して結果良くなっていない。  
50代女 しっかりした将来像を持った上でのグローバルな価値観なら賛成できるけど、ただ国際社会での優位性とか見栄のため、ただ単に調子合わせに過ぎないような今までの日本の政治家がやってきたグローバルな価値観なら辞めたほうが良いと思うから  
50代男 日本独自の固有性を大事にしないと、駄目。日本における「グローバル基準にあわせるべき」という用語のマスコミでのつかわれかたが、でたらめなため、TPPなどで悪用されることになるので。  
50代男 今回の穀物価格の高騰も、グローバルに投機マネーが動いた結果もたらされたものといえる。規制すべき対象である。  
60代男 日本は弱気すぎ、日本基準に世界を引っ張って来る位の気持でなければ駄目だ。中国の上を行くぐらいで無いと。自己中、自己主張をしよう。

グローバル化の肯定は、主に日本 / 日本人の内向きに対する否定の意識。  
グローバル化の否定は、我を忘れて、外国に対して追従することに対する否定の意識。

## 日本の自己アピールに関する意識

日本 / 日本人はもっと日本独自の価値 / 個性 / 感性を世界にアピールすべきだ

■ とても思う   
 ■ 思う   
 ■ やや思う   
 ■ やや思わない   
 ■ あまり思わない   
 ■ 全く思わない



「我を忘れることのない外向性」といえる、  
 「日本の独自性を世界にアピールすべき」という意識は、  
 どの層においても、ほぼ全ての人々が、肯定的であり、  
 とりわけ、理解ありのTPP反対層において特徴的に肯定される。



## アピールすべき日本の独自性とは

20代女	もの、人を大事にする心や、努力を惜しまない部分。	40代女	より良いものを追求し切磋琢磨していくこと。それがお金に直結していずともより良いもの、人が喜ぶもの、人を感心させるもの、を追及する。和をもって尊しとする精神。
20代女	敬語がある。言葉の美しさ、謙遜、相手を気遣う気持ち	40代女	日本人は勤勉で何でも器用に出来ることがとても価値であると思う。それだけでも世界に誇れることだと思ってもっと自信を持つべきだと思う
20代女	真面目で頭の良さ	40代男	ルール無視や自己中人間形成を促した欧米化は最低極まりない。謙虚で礼を重んじる従来の日本人の気質に戻していきたい。
20代女	日本の技術開発に見られるような細やかな配慮と機能美など、些細な所にも配慮のあるものづくりは世界にない独特の良さがあると思う。	40代男	恥に対する文化。失われてきているが「恥」を忌むべきものにとらえること。
20代男	礼儀、品性	40代男	互助の精神は、日本人の精神でもあると思う
20代男	安全でまじめで神経質	40代男	個人主義ではなく全体で目標と取り組むイメージ。
20代男	もったいないという感覚	50代女	奥ゆかしさ、譲り合う心、茶の湯の心
20代男	物や自然に対する見方、価値観	50代女	謙譲の美德。空気を読む。
30代女	時間に厳しい、他人のことまで考える	50代女	まじめ、几帳面、努力型、スポーツマンシップとしての弱いものや失敗したものを励まし、責任はリーダーが負うといった面
30代女	所謂「オタク的」なところが日本人だと思う。漫画やアニメといったオタク的というのではなく、身内に受けよう受けようとするところ。外の人間にむかって「どうだ、コレすごいだろ!」と自慢できる物を作るのではなく、仲間内にむかって「これ、すごくない?」と自慢できる物を作る。そんな気質。職人気質というか、評価されるされないではなくて、自分の内でどれだけ凄いものができるかが大切。で、ある日、それをたまたま目にした外部の人間に「ナニコレ、凄い!」と評価されてびっくりする。みたいな。	50代女	努力 協調性 まじめ
30代女	意見を相手にごり押しするのではなく、調和をもたらすようなイメージ	50代男	たとえば、日本の会社で、これまでおこなわれてきた、年功序列、終身雇用などが、欧米から非難されてきた。そのため、大きく変わってきているが、最近、また、日本のそれらが、見直しされていることもある。
30代女	細やかな心遣いや四季感じる感性	50代男	きれい好き、安心、安全。ウオシュレットに代表される技術は、日本文化からしかでてこない。自然を大切にす心。CO2削減に日本の技術を生かして欲しい。
30代男	挨拶、謙譲、尊敬、あいまいな表現で物事を感じ取る、空気を読むなどの日本人独自の感性、価値観。江戸っ子気性とよばれる、義侠心など。	50代男	相手への思いやり、三方良しを美德とする商習慣、きめ細かで行き届いたサービス、製品の機能、もてなしや歴史的な行事。
30代男	人の事を察して行動するという事。例えば仕事をしていて次の工程に引き渡す時、次の人が使いやすいようにして渡す。これは日本人の感性。“察して行動する”当たり前だと思っているが、個人主義の国ではこういう事はしない。	50代男	競争原理至上主義ではなく、助け合う心
30代男	助け合いの精神。困った人がいれば、特に近隣地人がおしみなく助けの手を差し伸べる。	60代女	丁寧でデリケート
30代男	日本人の心のわびさびとか、国民性とか、勤勉性とか、海外援助をしつかりとやっているところなど、海外の人が、日本人のここがいいと気に入ってくれていること。	60代女	相手のことを考える
40代女	善良さ、礼儀正しさ、治安の良さ	60代男	細かい配慮が出来、気配りが出来る
40代女	今ではだいが失われてしまったが、卑怯なことをしない、目上の人を敬う、など	60代男	会社で言えば従業員はひとつの家族とみなす従来型の終身雇用制などで会社に対する帰属意識の高まりが会社をよりいっそう活性化するとされることなど。
		60代男	日本人の基本的にもっているもてなしの心や控えめな態度。美に対する素直な感性。
		60代男	技術的な事や、相手の事を考えて行動する事。

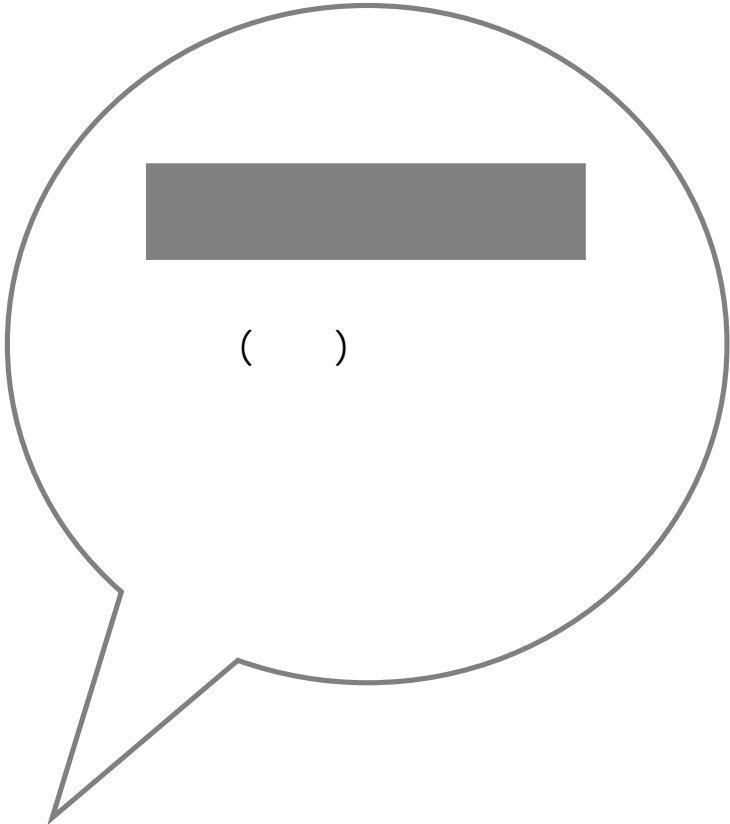
善良さ、思いやり、協調性(助け合い)、繊細さ(器用さ)、丁寧さ、こだわり……など

TPP賛成層はTPP反対層に比べて「日本 / 日本人の内向性」に対する否定の意識が強く「日本 / 日本人のグローバル化」に対して肯定的。その一方で、TPP反対層はTPP賛成層に比べて「我を忘れて、外国に対して追従すること」に対する否定の意識が強く、現状まかり通る意味での「グローバル化」に対しては否定的。

それゆえ、「我を忘れることのない外向性」といえる、「日本の独自性を世界にアピールすべき」という意見については、どちらの層でも、ほぼ全ての人には肯定的で、とりわけ「理解あり / TPP反対層」において強く肯定される。

ここにおける「日本の独自性」とは、善良さ、思いやり、協調性(助け合い)、繊細さ(器用さ)、丁寧さ、こだわり……など。

ただ単に、諸外国に追従するのではなく  
日本が自らの強みを戦略的に打ち出すことによる、  
グローバル化については、どちらの層も肯定的。



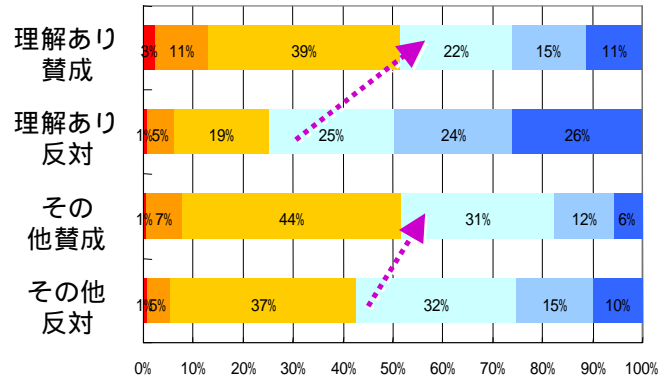
生活者のTPP賛成 / 反対態度形成に  
影響を与える「意識」の特定、その

酪農(農業)に対する意識

# 農業・食糧の問題に関して、メディアへの信頼感

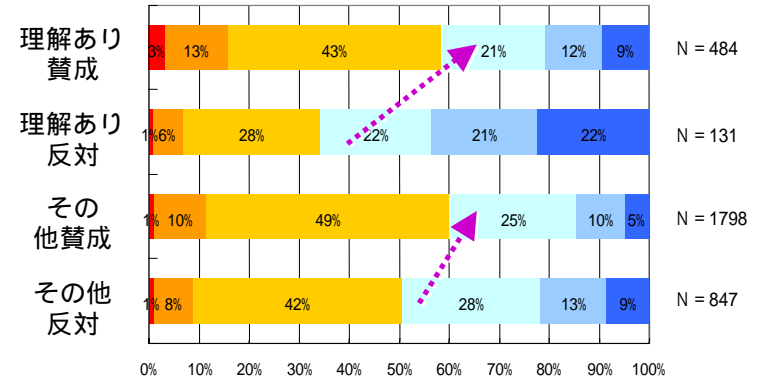
農業・食糧の問題に関して、  
テレビでいわれている意見は信頼できる

■とても思う ■思う ■やや思う ■やや思わない ■あまり思わない ■全く思わない



農業・食糧の問題に関して、  
新聞でいわれている意見は信頼できる

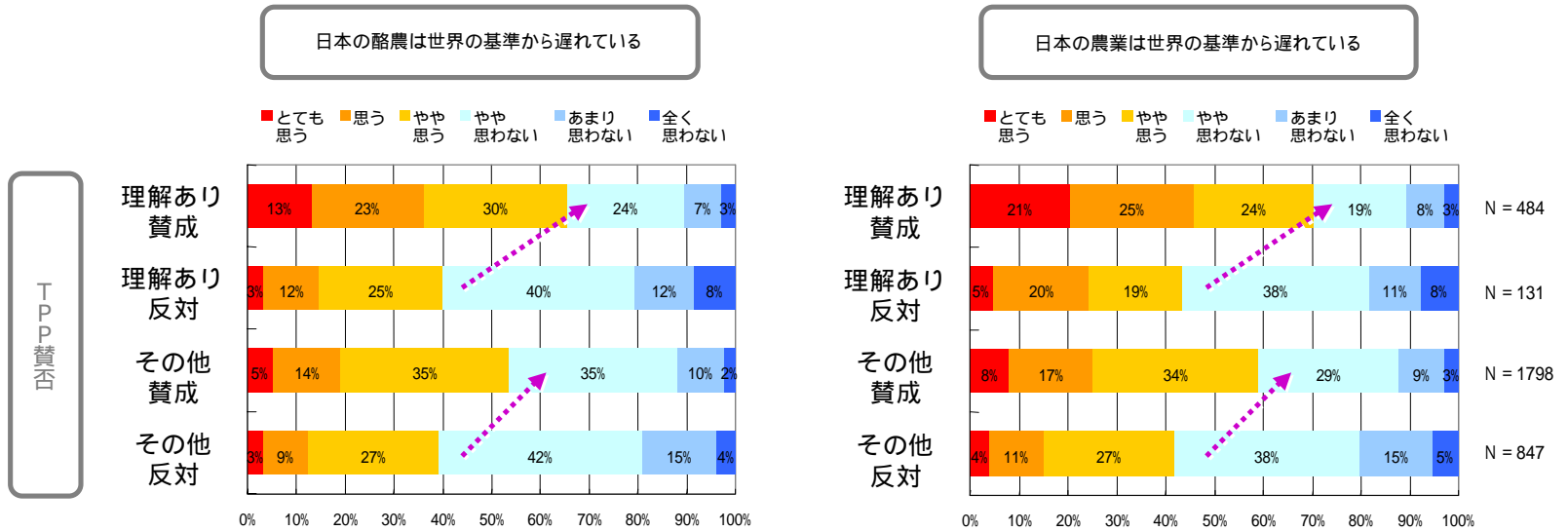
■とても思う ■思う ■やや思う ■やや思わない ■あまり思わない ■全く思わない



TPP賛否

TPP賛成層はTPP反対層に比べて  
マスメディアの意見に対する信頼度が高め。  
(逆にいえば、TPP反対層はマスメディアへの信頼感が低い。)

# 日本の酪農・農業は遅れている、という意識



そんなマスメディアの意見から影響を受けやすいためか、  
 TPP賛成層は、  
 日本の酪農・農業が、世界の基準から遅れていると思いがちで、  
 逆に、TPP反対層は、そう思っていない人が多い。

## 「日本の酪農が遅れている」と思う / 思わない意識のコメント

### 日本の酪農・農業が、世界の基準から遅れていると思う

- 20代女 技術よりも人力をつかっている。規模などからすればしょうがないとはおもうが、初期費用がたかなくても先をかんがえればもうすこし技術をたよるべきではないかとおもう
- 20代女 先進は欧米
- 20代女 どんどんつぶれていってる
- 20代男 世界と比べるとやはり小規模
- 20代男 技術の進歩に追い付いていない
- 30代女 利益を上げられる仕組みを構築できていないから。
- 30代女 悪く言えば効率の悪い作業をしている
- 30代女 世界の基準が機械などで一括に安く大量にだと思うが、その意味では日本はそこまでは行っていないと思う
- 30代男 世代交代が遅れている
- 30代男 経営や流通方法が官僚癒着と特定業界の意向の強さによって、進歩することが阻害されているから
- 30代男 規模が小さいため、価格競争や革新的技術の導入に不安がある
- 30代男 酪農でもうける人を見たと無いです。
- 40代女 競争のできる社会、人材が間に合っていない気がする。
- 40代女 小規模だから
- 40代女 すいません。酪農はまったく分かりません。でも、牛乳は美味しいですよね。バターも、チーズも、遅れているとしたら、経営方法ではないですか。大規模経営というのは日本に根付いていないような気がするのです。
- 40代女 小規模酪農家が多い。
- 40代男 家族経営がほとんどなので、経営的に見れば脆弱で危うい。
- 40代男 大規模化が必要だと思う
- 40代男 世界の中で競争していない
- 40代男 保護されすぎ
- 50代女 品質はいいが、合理化が進んでないので、生産性が悪いと思う。
- 50代女 アメリカなどに比べたら、規模が全く小さいし、機械化も遅れているように思う。
- 50代女 酪農について知らないことばかり。進んでいるようなイメージはない。
- 50代男 製品の質(安全、おいしさ)の面では優れているが、価格的には、オーストラリア、アメリカに負けている。
- 50代男 規模の問題。酪農を産業の主としている国との比較では遅れていると思うが、工業国の酪農でいえば遅れているとは思わない。
- 50代男 経営、規模など個人経営の域をでていない。
- 50代男 規模、流通、ブランドの構築、すべてにおいて遅れている。目先の保護が必要な変革を何十年も遅らせてきたから。一番の問題はJAなんて組織が大きすぎるから。
- 50代男 高コストをいかに解消するか？
- 60代女 規模が小さい
- 60代女 土地の違いからくる落差が有ると思う。
- 60代女 まだまだ、世界との競争にさらされていないと思う。
- 60代男 小規模の乱立では、コスト的に太刀打ちできない。
- 60代男 製品は遅れていないが、経営運営は零細農家が多く世界基準では遅れている。

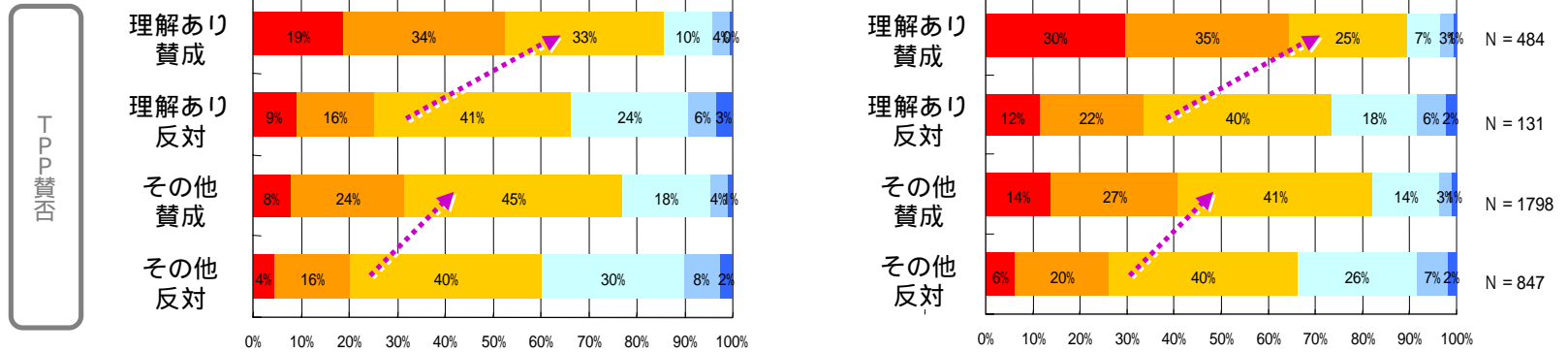
### 日本の酪農・農業が、世界の基準から遅れていると思わない

- 20代女 口蹄疫での対応。韓国は豚を「生き埋め」。
- 20代女 お金も余りかからず、地球にも人にもやさしい昔ながらのやり方に近年戻ってきていると聞いたので、考え方は進んでいるのではないかと思います。
- 20代女 食の安全性が消費者から追求されているので、それに応えようとするために、進んでいると思う。
- 20代男 安全性に関してはトップクラスだろう
- 30代女 第三諸国に教えられるほどの技術は発展していると思うし、海外の方法なども積極的に取り入れていると思うから。
- 30代女 品質が高いから
- 30代女 大規模ではないけど、管理や清潔がいきとどき、きちんとしたイメージなので
- 30代女 殺菌などキチンとしてそう
- 30代女 感染症への対応がちゃんととされているし
- 30代男 味がまったく違う
- 30代男 安全性や管理がしっかりしている。
- 30代男 やわらかい肉質の肉を生産する技術は進んでいると思うから。
- 30代男 安全・安心な食品を生産することが、日本の酪農の強みだと思うから。
- 40代女 ブランド牛があることが進んでいる証拠だと思う。
- 40代女 食べても安心なものを育てているのだから進んでいると思います
- 40代女 大型化よりは個性豊かに個別に進化していると思う
- 40代女 日本のメーカーで、美味しいと思う牛乳や乳製品がたくさんあるから。
- 40代男 インフルエンザでもすぐに対応するから
- 40代男 安全性の部分では手間がかかるかもしれないが進んでいると思う
- 40代男 北から南まで酪農家が存在していて各方面のブランド化が進んでいるため。
- 40代男 管理されていてすごいと思います
- 40代男 北海道などはヨーロッパ並みの大規模化をされていてすすんでいると思う。
- 40代男 単位面積あたりの収量という観点では日本の酪農はトップのはずです。その意味では進んでいるのですが、単位面積あたりの収量なんてことを気にしない他の国から見れば、進んでいるのではなくて、無理をしているようにしか見えなないかもしれません。
- 40代男 管理酪農となっていて、世界的に見ても進んでいるほうではないかと思う。
- 50代女 品質の高く安全でおいしい牛や豚などを飼育しているから。
- 50代女 日本の酪農は一頭一頭の牛を大切に世話をして育てているというイメージがあるので進んでいると思います。
- 50代男 品種改良
- 50代男 製品の安全性が高いから
- 50代男 現場の技術やノウハウは進んでいる。遅れているのは国の対応。
- 50代男 規模は小さいが努力と最新の技術を導入している。
- 50代男 自動搾乳等機械化が進んでいる
- 60代男 安全と効率のバランスが非常によい。
- 60代男 感染症問題に対処する、姿勢を持っている。
- 60代男 緻密で丁寧なもののづくりというのが日本文化だから。
- 60代男 個々の技術は発展していると思うがそれを後押しせず、個人に任されている

主に、大規模化と国際「価格」競争力

品質と安全性に対する評価

# 日本の酪農・農業はがんばらないと、という意識



やはり、マスメディアの意見から影響を受けやすいためか、  
 TPP賛成層はTPP反対層よりも、  
 日本の酪農・農業がもっと努力し、進歩すべきと強く思っている。

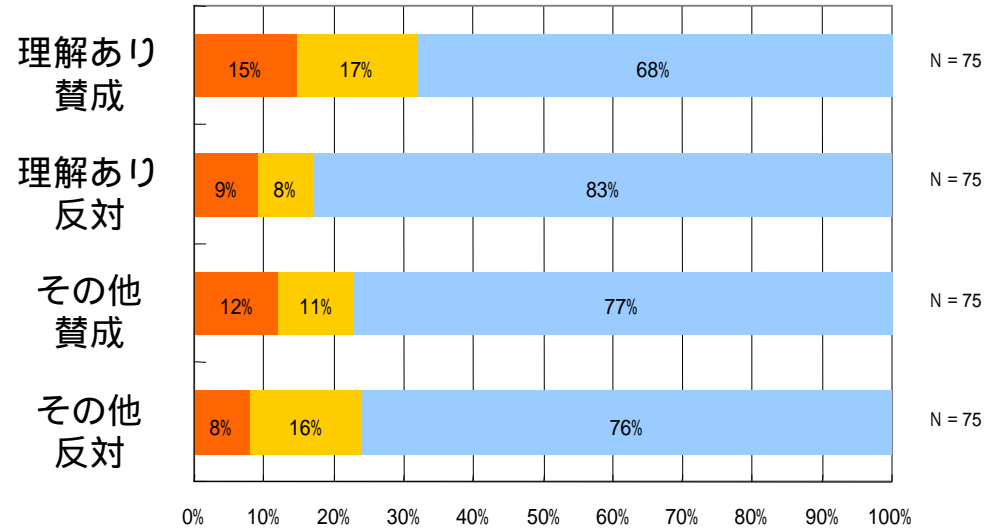
では、日本の酪農は、いかに努力し進歩すべきか？

# 「食品 / 食料品にとって最も大切なこと」

一般的な食品・食料品について、多くの人にとって最も大切だと思うこと

■ 美味しさや栄養      ■ 値段の安さ      ■ 安全安心

TPP賛否×理解



TPP 賛成層も TPP 反対層も、  
食品 / 食料品にとって最も大切なのは「安全安心」と回答。



## 「安全・安心」を最も大切とするコメント

- 20代女 安全ではなかったら買う気がしないので
- 20代女 中国の製品は信用できない
- 20代女 安全安心であればあるほど、おいしさや栄養にも通じると思うから。
- 20代女 値段については安全安心であればかかってこないかもしれない医療費にお金をかけなくてよいし、おいしさ、栄養は安全安心に付随しているものとおもうから
- 20代男 中国産は買わない
- 20代男 命にかえられない
- 20代男 安全安心でなければ美味しかったり値段が安かったりしても食べたいとは思えない
- 30代女 子どもがいるため、食の安全性には興味がある
- 30代女 安心や安全はお金で買えず、目に見えないものなので、大事にしたい。
- 30代女 体に悪いものを食べて体を壊せば、結局お金が掛かるから。
- 30代女 小さい子供がいるので、食の安全安心はだいたい意識します。
- 30代女 外国産の食品(特に中国産)は信用できない。
- 30代男 食料品の安全性は情報があまり開示されていないので、個人できちんと判断し、対応するしか自衛手段がないから
- 30代男 食品は生命活動の源泉だと思うので。
- 30代男 農薬が基準値以上と聞いたら食べたくない。
- 30代男 安くても安全な商品でないと、将来の健康を害することがあるから。健康第一。
- 30代男 NO!中国 NO!韓国ゲテモノや汚染物質を入れた食品や製品を輸出する国は滅ぶべきである。
- 30代男 海外の品質基準が日本の品質基準を満たしているとは限らないから。
- 40代女 安心安全な食物を口にするのが当たり前だと思うから。土壌汚染された中国の野菜や、うなぎなど…論外です。中国人ですら食べないものを何故、日本人が食べなきゃならない？
- 40代女 やはり食品は安全安心が第一だと思う。いくら安くても安全なものでなければ不安で買うことが出来ない。
- 40代女 値段が安くても危険なもので命縮めたくないし病気になりたくない。個人的にも社会保障的にも余計高つく。安全で安心なものには美味しさや栄養効果がついてくると思っている。
- 40代女 20年ぐらい前には美味しさと値段でよかった。食品は安全だと信じていたから。でも、中国産のもので問題が起こったりして、最近は安全かどうかが一番心配です。
- 40代女 自分だけだったら良いのだけど、子供に食べさせる物は吟味したい。これから何十年も食べ続けるものが粗悪なものだったらきつと子供は年を取ってから体が苦勞すると思う
- 40代男 中国から毒にまみれた食品が、アメリカからは病原体をたっぷり含んだ牛肉が入ってきていることを、私たちは忘れるべきではない。
- 40代男 国産のものを購入する
- 40代男 病気・障害・その他の不利益を被るのは自分であるから。
- 40代男 食品は実際に口に入れるものなので、すべての基本が安心安全だと思う。だが、体に悪いものを安いからといって買うだろうか。
- 40代男 その上で安ければ、言う事ないが…それ以上に食品などの安全性は大事だと思うので。
- 40代男 化学物質混入、遺伝子操作など
- 40代男 死にたくない。
- 50代女 食品添加物に対しては以前から興味があったことだから。
- 50代女 価格も大切だが、安ければよいという物ではない、長い目で日本の行く末を思った時に自給率が下がってしまった国内が危機的に成ると思う。
- 50代女 食が身体を作る
- 50代女 安全でないと食べる気がしない
- 50代女 自分の体の健康を維持することを重視しているので、安全安心な物を求めます。
- 50代女 今は安全なものが少なくなっているため、体に安心なものを選んでます
- 50代男 健康的な面から、安全安心が第一である。
- 50代男 食の安全はマスト
- 50代男 出来るだけ国内産の安全なものを選ぶようにしている
- 50代男 アメリカからの輸入業肉の汚染、中国の粉ミルク事件
- 50代男 中国製品は信用できない。というか国自体が信用できないので購入は控えている
- 50代男 米国産牛肉問題が発生以後、未だに何度も危険部位が混入している。強欲の表れかもしくは能無しか。
- 60代女 農薬や遺伝子組み換え
- 60代女 口に入れるものはやはり安全が一番。
- 60代女 食べ物にかんしては安全安心さが一番
- 60代女 中国産に不安を感じて以来、どんなに安くても避けるようになった
- 60代男 健康第一、自分の身は自分で守る
- 60代男 やはり安全安心が一番である。
- 60代男 アメリカ牛肉の例で見るとわかるが安全安心がこのファクターのうちでは一番下にアメリカ自身がしようとしている。
- 60代男 中国産の食品は買わないようにしているが、レストランなどで出てくる野菜や、福神漬け、寿司のガリなど生産地がわからないものを口にして不安がある。
- 60代男 安全なものでないものを、市場にあふれるという現代の社会を、認めなければならない。
- 60代男 安全安心項目は価格、効果と同格とは考えない、別格でトップに位置する基本項目。

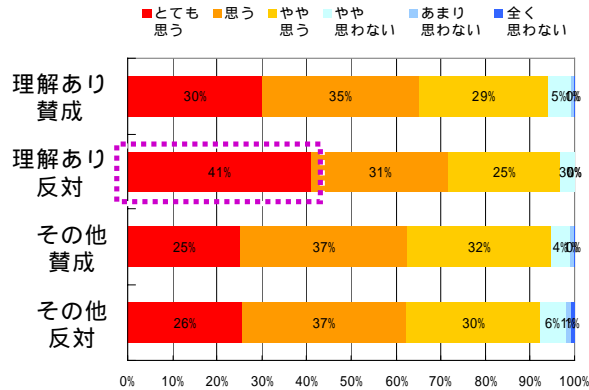
安全安心はあくまで基礎的な価値。

でも、そこが輸入ものを中心に、危うくなっているという実感。

安くても、その食品を食べてカラダが悪くなったら、  
そのために膨大なお金がかかってしまうという考え方。

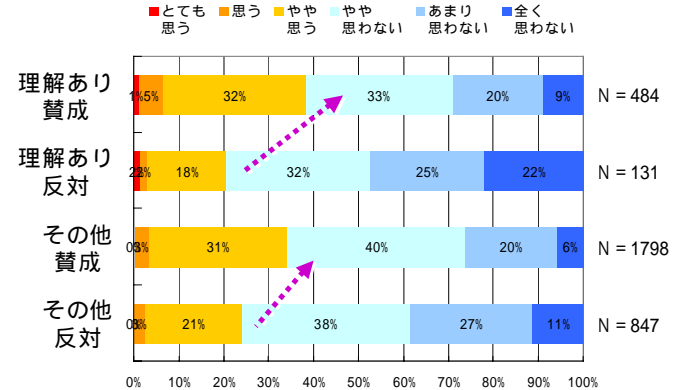
# 国別、食料品 / 食製品イメージ(安全・安心)

日本の国産の食料品 / 食製品は、安全・安心だと思う



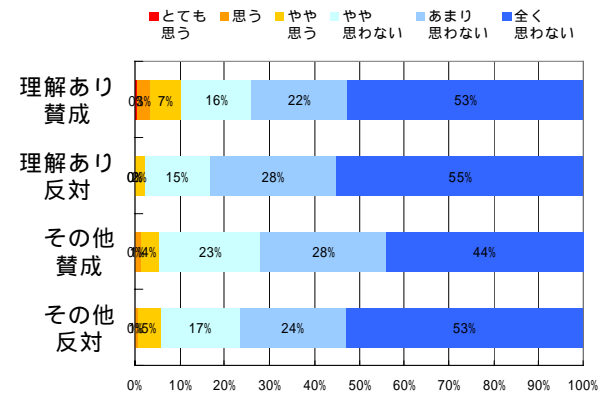
TPP賛否

アメリカから輸入する食料品 / 食製品は、安全・安心だと思う



TPP賛否

中国から輸入する食料品 / 食製品は、安全・安心だと思う



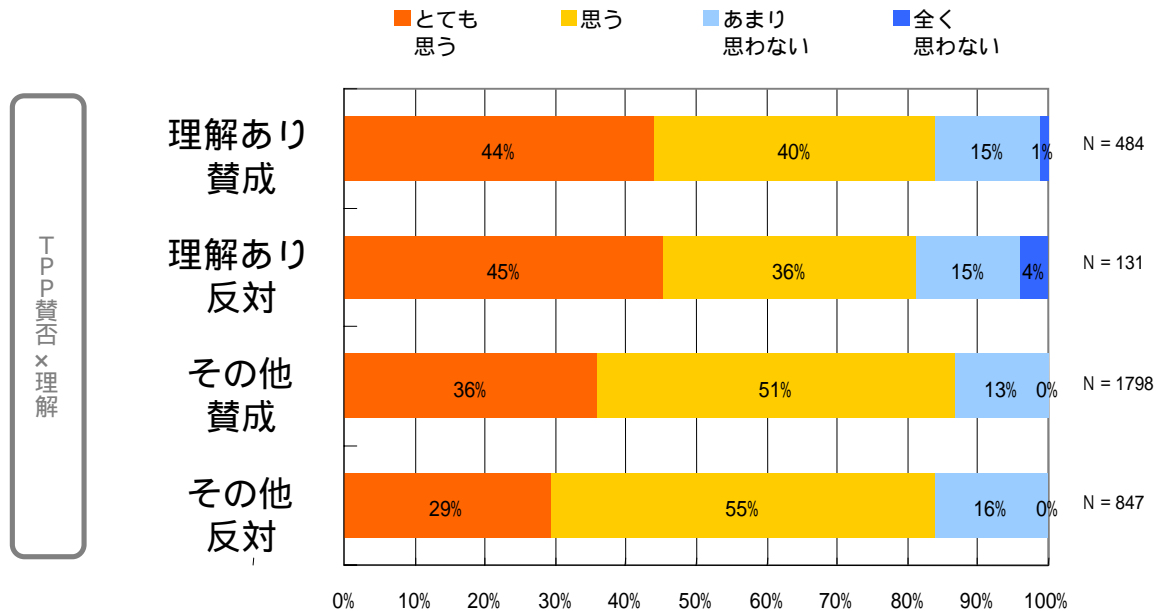
TPP賛否

他と比較して、国産の安全安心イメージは極めて強い。  
(特に理解ありTPP反対層において)

国産に比べれば、高くはないが、アメリカ産の安全評価は、TPP賛成ほど高い。

## 「安全安心」にがんばることの是非。

日本の酪農が、今よりも更に「安全・安心」を追求し、そのことを強くアピールすることは、これから日本の酪農産業が、日本の国内や海外で競争力を持つために、どれくらい効果的だと思いますか。



TPP賛成層もTPP反対層も、  
日本の酪農が「安全・安心」を武器に、競争力を持つことについては  
かなり多くのひとが肯定的。

## 「酪農が安全安心を武器にがんばることに賛成」のコメント

- 20代女 購買層は沢山いる。金持ちには高い値段で売ればいい
- 20代女 安心安全が日本のよいところだとおもうのでのばすべきである
- 20代女 値段・量で勝負できなければ、味・安心で勝負するしかない
- 20代女 価格＜安全・安心の時代が必ずくるため、品質重視で純粋に安全な安心なものを作り続けていることが効果的だと思う。
- 20代女 日本製は安全だというイメージはしばらくは変わらないと思うから。
- 20代男 安全安心というブランドは重要だから
- 20代男 安全性という強みでは他に引けを取らない
- 20代男 儲けられる
- 20代男 安全性を全面に打ち出し、高い品質を確保することで海外での競争力をつけることが出来ると思うから
- 20代男 こういうアプローチもあり
- 30代女 安心安全をアピールすれば、最初こそ苦労するかもしれないけど、いずれは信頼で勝ち取れるんじゃないかと思う。
- 30代女 日本製品はそれがウリだと思うから。
- 30代女 口蹄疫など国境を越えた脅威がある現在、安全安心な生産体制だということは信頼と技術力を示すことになると思うので。
- 30代女 すでに安心安全であるのでそのことを世界にアピールすれば必ず需要は増えていくので
- 30代女 「安全・安心」は誰もが欲しいと思うから。
- 30代男 それが海外では一番喜ばれると思うから
- 30代男 日本の安全性に対する管理方法は強みだと思う。
- 30代男 安全で品質の良い商品は世界で通常する。
- 30代男 「安全」は人類共通の価値基準だ。飲んだら死ぬ、食べたら死ぬ、使ったら死ぬ、そんな製品欲しいか？
- 30代男 中国では自国の物は信用しないで他国の物を購入する。今は東南アジアの物を購入しているが、日本の物は確実に安全の認識がありGDPが2位に上がった事で需要が伸びるのは必然である。輸送コストの問題があるが、需要が出てくれば一気に安くなると思われる10億人のマーケットを意識した安全ブランドを確立してもらいたい
- 30代男 「日本製の食品は安心だ」という信頼こそが、なによりの強みだと思うから。
- 40代女 日本の酪農は世界に誇る安全、安心な製品を提供していると思う。もっとその安全、安心を前面に出して、乳製品を売り出すべきだと思う。
- 40代女 アピールが足りない。もっともっとアピールをメディアを使ってすべき
- 40代女 日本の牛乳やバター、マーガリン、チーズ、美味しいです。アメリカのチーズはまずかったです。スーパーなどでは結構売れていると思いますけど、もっともっと宣伝していいと思います。
- 40代女 日本の製品は本当に素晴らしいので、アピールしてもっと世界市場に出て行くべきだと思うから。
- 40代女 日本ブランドのメリットとして、安全でおいしいは、不可欠。
- 40代男 日本の酪農の安全性は世界に誇れるし付加価値があると思う。
- 40代男 安全性をアピールすれば中国で売れそう
- 40代男 日本のいいところを世界に認知させることが今後の農業発展には必要不可欠であり、競争力をもつには一番重要と思うから
- 40代男 どんなに安心安全なものを作っても、それを内外に発信しなければ、誰にも伝わらず、苦労が報われないから。逆に広く世間に知られるようになれば、安全・安心を武器に競争力をあげられると思う。
- 40代男 まだ工業製品に比べて日本の酪農商品は世界に広まっていないように思う。その為にも、管理徹底した「安全・安心」商品を広げるべき。
- 40代男 国内消費者はもとより、中国などの富裕層などにも日本製の安全性を高く評価する声があるから。
- 50代女 信用は第一。安心して食する美味しいものは絶対に世界からの需要があるから
- 50代女 全て「信用」
- 50代女 日本は海外でも商品に対して信頼が高いのでぜひ強くアピールして発展していくべき。
- 50代女 少々高くても食べたいと思ってもらえることが効果的だと思います。安い・まずい・危険...こんな3点セットで商売していたら、お先真っ暗だと思います。
- 50代女 食に対する不安感はいずれも(新興国でも)もっているはず。まずは富裕層を狙え。
- 50代女 肉類は欧米での消費が高いので、安全の問題が世界的に問題になったときに日本の安全な製品は大いにアピールできると思う。
- 50代男 普通にまじめに育てることで競争力は回復する
- 50代男 他の国にはまねのできないことだから
- 50代男 日本の技術と安全性については一流と思うので、是非がんばって欲しい。
- 50代男 酪農に限らず、日本産の農産物は安全・安心を達成し維持しています。肉も海外へ輸出しても負けないと思います。ただ、値段の問題は残りますが、中国の富裕層に和牛ステーキやすき焼きを食べさせたら、行けると思います。生き残るためには輸出は大事かと思う。
- 50代男 海外へ売り込むために、安全をアピールすること。
- 50代男 日本人の食の安全や美食に対する意識は世界一。ネット社会を通じて国が変わる様に日本人の魂が自然と世界に広がる。
- 50代男 安全性で海外品と差別化するのも一案と思う
- 60代女 食にとって、安全性は当然の前提条件だと思うから。
- 60代女 安心安全だとの国の人も購入する
- 60代男 安全安心が最大の武器となると考えています。
- 60代男 安全の概念が世界的にも注目される時代が来る。
- 60代男 安全のより政府の政策で担保し保護政策をとればもっと良くなる気がする。
- 60代男 海外は別にしても、少なくとも国内においては、「安全、安心」新鮮は絶対的な強みだと思う。
- 60代男 安全安心のブランドイメージが高まれば日本国内だけではなく、外国への輸出も可能になると思う。
- 60代男 生産性では敵わないが、安全性をブランド化することで競争力を持ち得ると思う。

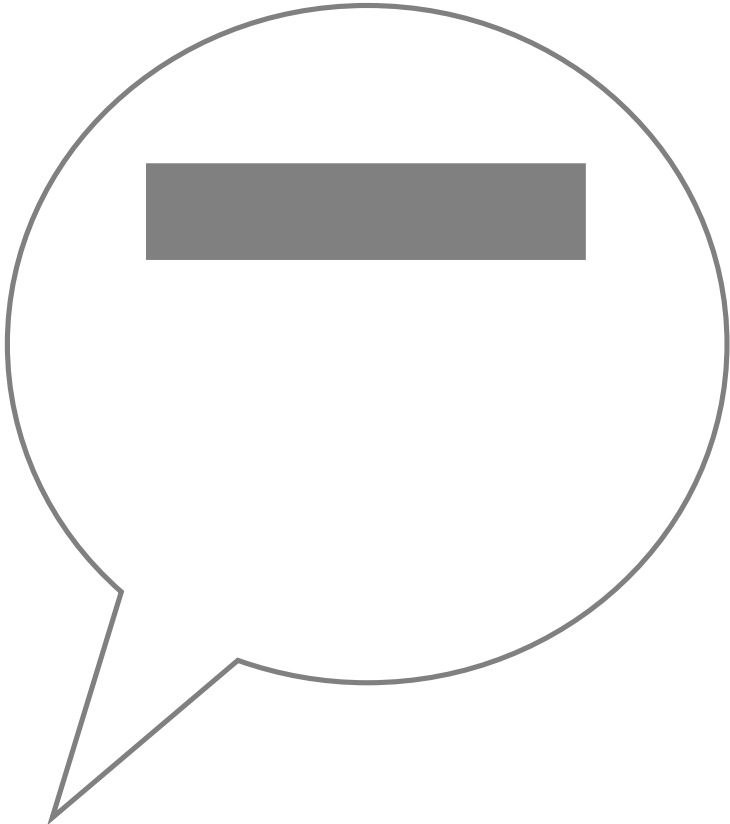
特に、「安全・安心」は高価格での需要につながるという認識

マスメディアの意見から影響を受けやすいTPP賛成層は、＜大規模化と国際「価格」競争力＞という点で日本の酪農・農業が、世界の基準から遅れていると思いがちで、逆に、TPP反対層は、国産の＜品質と安全性＞に対する評価から、そう思っていない人が多い。そのため、TPP賛成層はTPP反対層よりも、日本の酪農・農業がもっと努力し、進歩すべきと強く思っている。

TPP賛成層もTPP反対層も、食品／食料品にとって最も大切なのは「安全安心」。安全安心はあくまで基礎的な価値だが、そこが輸入ものを中心に、危うくなっていると実感している。あと、安くても、その食品を食べてカラダが悪くなったら、そのために膨大なお金がかかってしまうという考え方を持っている。

TPP賛成層もTPP反対層も、食品／食料品の「安全安心」について日本に自信を持っており、日本の酪農が「安全・安心」に努力し、それを武器に国際競争力を持つことについてはかなり多くのひとが肯定的（特に、「安全・安心」は高価格での需要につながるという認識）。

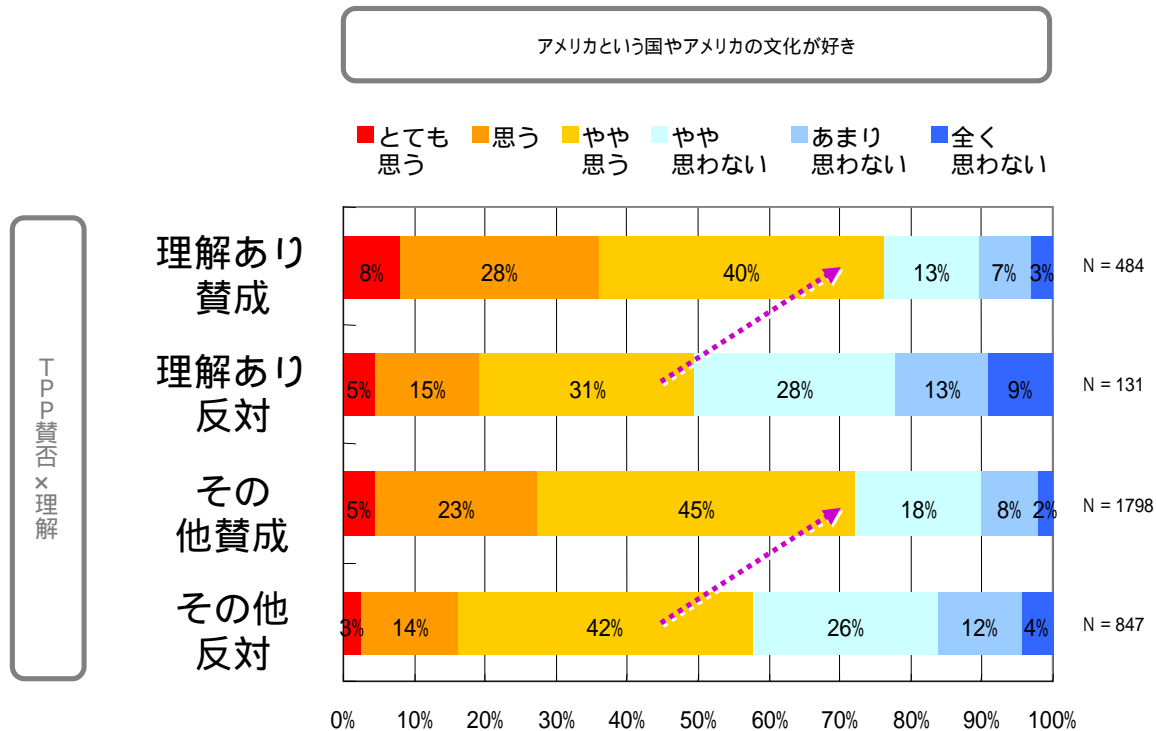
日本の食品・食料品の強みとして、  
「安全安心」を戦略的に打ち出すことについては、  
TPP賛成層もTPP反対層も肯定的。



生活者のTPP賛成 / 反対態度形成に  
影響を与える「意識」の特定、その

アメリカとの関係に対する意識

# 「アメリカ」について



TPP 賛成層ほど、アメリカびいき

## 「アメリカ」について / コメント

### アメリカを好き

- 20代女 自由だから  
20代女 考えが柔軟自由  
20代男 エンターテインメントは優れている  
30代女 合理的だから。  
30代女 楽しさ、公正さがあるとおもう  
30代男 アメリカ人はおおらかで、大きな大地を駆け巡るイメージがある。日本人のようにけちけち・ねちねちしていない。  
30代男 自由が保障されるから。  
40代女 幅広くうけいれる文化  
40代女 国としての若さがある。人種差別の歴史や銃・ドラッグ・肥満などさまざまな問題があるが、すべてをひっくるめてアメリカらしいから  
40代男 自由主義的なところがいい  
40代男 大らかで、感情を隠さないの、とてもフランクに付き合える。2000年で国を世界一にした、大成功の国。大のオトナがイベント時にはしゃいでいる姿を見ると、日本のサラリーマンが同僚同士で愚痴りながら酒を飲む場面が寂しく思える。  
50代女 個人が主人公の資本主義社会のすばらしさを教えてくれた国だから  
50代女 活気がありそう  
50代男 青春時代にアメリカの音楽・映画等にドブプリついていたから。  
50代男 機会の均等はある  
50代男 建国数百年で世界一の大国となったことは見習うべき  
50代男 アメリカンドリームに代表される誰でもにチャンスがある社会。そして自己責任も課せられている社会。  
50代男 一番自由を感じさせる国なので

主に、アメリカにある自由や成功のイメージを好感している。

### アメリカを好きでない

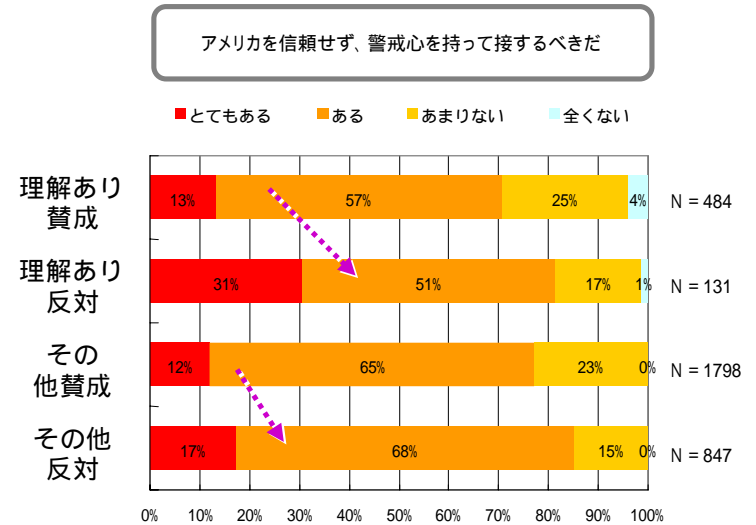
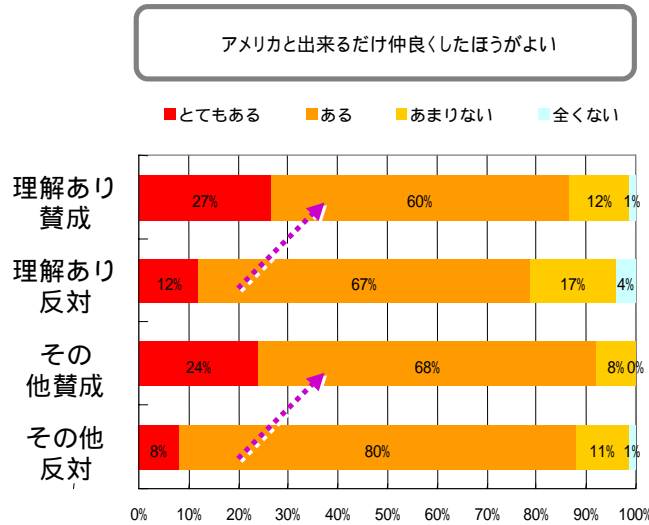
- 20代女 貧富の差が激しいから。  
20代男 何にでも干渉してくる気がするから  
20代男 トヨタバッシング  
30代女 肥満製造食文化が怖い  
30代女 比較的好き嫌いがはっきりしていて、攻撃的なイメージがあるので好感は持てない  
30代女 かつての古きよきアメリカの文化は好きですが、最近のアメリカはそういうものも失われているようで、あまり魅力を感じない。  
30代男 ジャイアンズムはどうかと  
30代男 日本はあまりにもアメリカの言いなりになっているから  
40代女 アメリカは人に意見を押し付けるような気がするのであまり好きではありません  
40代女 アメリカはそれでいいと思う。いいところは真似してもいいと思う。ただ何でもかんでもアメリカナイズされるのはどうかと思う  
40代女 アメリカの統治下において現憲法も作られ、アメリカに対して良い感情は無いが、現在の日本は自国を守る事すら出来ない状態であるから、当面は仲良しなフリをして、自立国として歩めばいいと思う。  
40代女 自国が一番という考えがどこかにあるような気がする。  
40代男 敗戦国として常に見られてきたから言いなりの政策しか取れていない。  
40代男 アメリカの歴史は基本的に侵略から始まっている。そのため警戒すべき対象と思う。  
50代男 日本にアメリカの価値観を押し付けてくるから  
50代男 アメリカは、歴史的に、イギリスからの移民で、作られて国で、ある意味、ならず者の国であり、固有の文化は、ない。あるといえば、「なんでも強奪する文化」と思う。  
60代男 アメリカは日本を子分と考えている  
60代男 イラク戦争などに見られる自分たちの価値観をあまりにも押し付けてしまっている現状には嫌悪感すら感じる。

主に、国際舞台や、日本外交におけるアメリカの横暴ぶりを嫌悪している。



# 日本はアメリカとどのような関係をもつべきかの意識

TPP賛否×理解



日本がアメリカとどのような関係を持つべきかについては、  
仲良くはしつつも、警戒心をもつべきと思っている。

ただし、

TPP賛成層は「仲良く」の意識がより強く、  
TPP反対層は「警戒すべき」の意識が強い。

# 日本はアメリカとどのような関係をもつべきかの意識コメント

## アメリカと仲良くすべき

- 20代女 仲良くすれば平和になれる  
 20代女 これからの日本の将来を考えて、アメリカとは友好に付き合った方が良いから。  
 20代男 頼りになる  
 20代男 国際情勢を考えて  
 30代女 アメリカを敵に回したら世界中から孤立するので  
 30代女 中国の驚異に対し、アメリカと協力して対抗する必要があるから  
 30代男 日本が自分で自衛する気がないから、頼れるところはアメリカに頼るべき。  
 30代男 正直、アメリカの盾がないと中国やロシアに日本の領土を取られたままになるばかりか、これ以上の領土侵犯をされると思う。日本の自衛隊の戦力は世界屈指である事には間違いないが、それだけでは抑止力にはなっていないことが現実であると思う。  
 30代男 アメリカが世界で一番の大国なので、仲良くしたほうが経済、外交、防衛面などで日本の利益を得ることができると思うから。  
 30代男 最近あまり相手にされていないようですが、中国に出抜かれないようにすべきだと思います。  
 40代女 日本だけでは資源、武力など弱すぎる  
 40代女 アメリカを敵に回すとことん潰されるから  
 40代女 お互いの文化を大事にでもっと発展できると思うから  
 40代男 現在、アメリカはやはり世界の中心で世界的な影響力が強い。国際的なことを行うとなるとアメリカを無視して進めることはできず、アメリカの影響をうまく利用しない手はない。  
 40代男 中国の軍事力が脅威なので  
 40代男 アメリカのマーケットは日本に取って必須だ  
 40代男 なんだかんだいってても今後アメリカの抑止力(軍事力)無しではアジアではやっていけないと思うので。  
 50代女 共産主義の怖さを最近痛切に感じているので、例えば世界中が全てアメリカのような資本主義社会ならどこが世界一の経済力でもかまわないと思うけど、共産主義に世界を牛耳られ自由にもも言えないような時代だけは経験したくないから。  
 50代女 現状では、日本はだんだんアメリカに見放されつつあるが、軍事力を持たない日本が、中国や北朝鮮に対抗するには、アメリカと仲良くしざる負えないと思う。  
 50代男 国境問題をかかえるロシア・韓国・中国に囲まれている現状ではアメリカだよりか。  
 50代男 アメリカは、ロシアの強権国家、中国などの独裁国家などに比べると民主的な国家であり、彼らの横暴に対して、日本も協力して対応すべき。  
 50代男 日本の防衛は安保条約にのみ保全されている。日本が核武装しない限り、防衛を米国にゆだねている以上大切にしなければならぬ。  
 50代男 貿易立国とならざるをえない日本にとって、アメリカは重要なパートナーであり、また防衛面でのつながりも大事にすべき  
 60代女 安全保障はすっかりアメリカにお世話になっているから。  
 60代女 日本だけでは戦えない  
 60代男 中国、ロシアに対抗するため  
 60代男 アメリカは独善的なところもあるが、世界のリーダーたる良い面も多々ある。  
 60代男 経済的にみてアメリカ市場は日本にとって必要である、軍事的に見てロシア・中国との関係を考えてアメリカと仲良くした方が良い。

## アメリカを警戒すべき

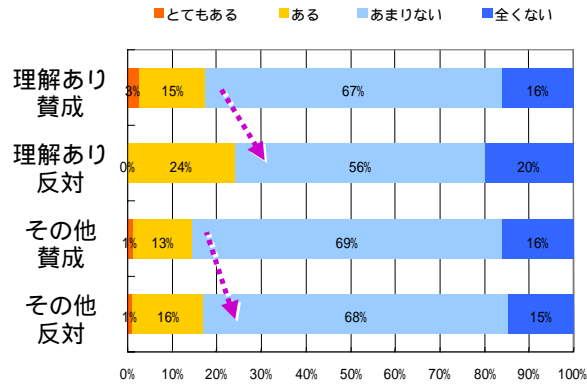
- 20代女 頼りすぎているといざというときのひらをかえされて途方にくれることになるから  
 20代女 何でもアメリカに追従していると、日本はアメリカの付属の国に思えてくるから。  
 20代男 日本のお金を奪おうとたくらんでいる気がするから  
 20代男 信用はしても信頼はできない  
 30代女 アメリカは所詮アメリカ第一で、日本のためになにかしてくるわけじゃないので、日本のためにしてくれていると思っているのは勘違い。あくまで、自国の利益になるかどうか。そのためならどんなことでも平気でやる。それはこのところの中国重視路線から中国警戒路線への変更でありありと感じた。あくまで日本は都合よく利用されていることを自覚しないといけない。  
 30代女 リーマンショックのこともあるし、あまりアメリカを信頼し、おんぶに抱っこ状態は良くないと思う。仲良くはするが、ある程度の距離は保つべきだ。  
 30代女 世界的にみると日本は安全であるせいか、危機管理意識が低いように思うので、いいように経済的に利用されたり、ハッキリ意見を言わないせいで嫌な役割を押しつけられかねないの。  
 30代男 米国の行き過ぎた一国主義を抑え、国際協力を促すのは同盟国の役割でもあつて考えるため。しかしながら、どんな国でも自国の国益が最優先されるのは当然のことで、日本も日本の国益に適った賢い外交を展開していかなければならないと思うから。  
 30代男 うそつきだから  
 30代男 トヨタ批判を見れば明らか  
 40代女 アメリカは頭ごなしにあしろうと言っているような気がするの言いなりにならないようにしなくてはならないと思います  
 40代女 日本はアメリカではなくアメリカは日本ではない。アメリカにはアメリカの正義があり、あくまでアメリカが第一義にくる。違う国なので当然でしょう。  
 40代女 アメリカは自国が一番と思いつているので、自国以外を自分たちが仕切ることを当たり前と思つているところが警戒すべきと思う。  
 40代男 アメリカが、本当に日本を助けるかどうかは不安な点が多いから。今や日本より中国を重要視した関係になっていると思う。国益にて動いているのでやむなき部分もあるかもしれないが、絶対的信用はできない。  
 40代男 アメリカからいろいろな面で干渉されているのは事実。どこの国も自国の国益が第一なのは当たり前、しかし日本はアメリカの国益のために動かされることが多い。よって信頼できないし警戒心をもって接するべき  
 40代男 政治面では信頼しても良いが、経済面ではやはり競合相手だから。今はやってないが、輸出用のかんきつ類にはアメリカ国内の基準値以上のカビ防止剤を使っていたなんてこともありましたね。  
 50代女 アメリカと仲良くしていても、アメリカにとって都合の良い政策を日本に強制する可能性があると思うからです。  
 50代女 アメリカだけでなくどの国だって自分の国のメリットや利益しか考えていないはず。お人よしのようには馬鹿みたいにアメリカのご機嫌を取って守ってもらえると頭から信じることはしないで危機管理をしっかりしておくべき。  
 50代男 アメリカに搾取されすぎ。真の独立が、必要。  
 50代男 裏でひどいことをしている  
 60代女 損得計算が顕著で日本を無視したり、叩き潰したり、防衛の見返りとしてはひどすぎ

軍事を中心に、アメリカに頼る気持ち  
(中国など周辺国への警戒心の裏返し)

これまでの過干渉への反発  
日本は「真に独立すべき」という意識

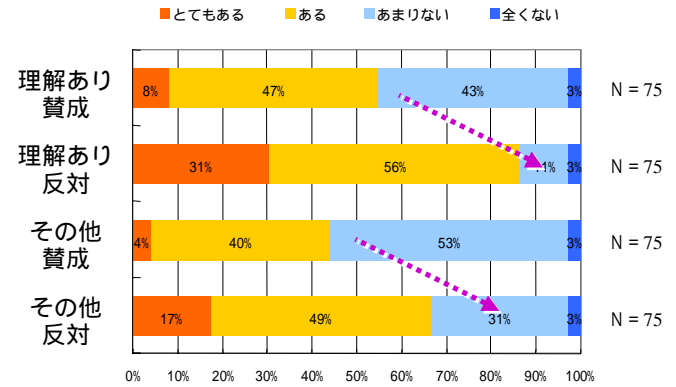
# 国別、食料品 / 食製品イメージ(安全・安心)

日本(国産)の食品・食料品に、  
危険や不安を感じること



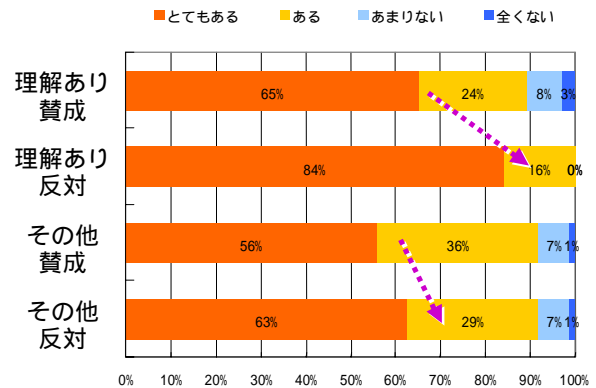
TPP賛否

アメリカから輸入する食品・食料品に、  
危険や不安を感じること



TPP賛否

中国から輸入する食品・食料品に、  
危険や不安を感じること



TPP賛否

TPP反対層は、  
どこの国で生産される食品に対しても  
危険や不安を感じることが多い。

とりわけ、米国産の食品に  
危険や不安を感じるものが  
TPP賛成層より特徴的に多い。

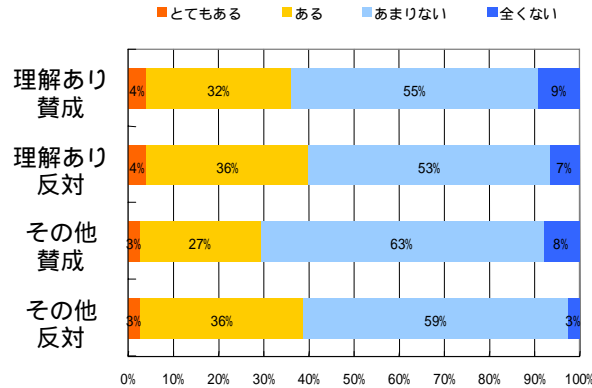
## アメリカから輸入する食品・食料品に危険や不安を感じる時

- 20代女 スーパーに並んでいるフルーツにはとんでもないものが紛れている事が稀にある。そのような商品を見た時には輸入ものに対する怖さを実感した。
- 20代女 大量生産BSE
- 20代女 野菜など、なんとなく農薬がたくさん使われていそうなイメージがある。
- 20代女 BSE問題で、テレビで大きく報道されていたり、牛丼が安く食べられなくなった。
- 20代男 残留農薬
- 20代男 BSEの問題があるから
- 20代男 検査の質
- 20代男 牛肉の安全性が怪しかった時
- 30代女 遺伝子組み換え食品が猛烈な勢いで出回り始めたとき、世界経済の歯止めのきかなさを感じました。
- 30代女 レモンのあの表示義務の理由をもっと広く教えないと...
- 30代女 狂牛病のとき
- 30代女 農薬の使い方。カロリーの多いものが多い。
- 30代女 牛肉。狂牛病に関してのアメリカの態度はおかしいと思う。自国民にすらキチンとした事実を報道せず、日本に対してもゴリ押し。遺伝子組み換え穀物についても同じく。アメリカは巨大企業が絡むととても公平とはいいがたい利益至上主義になるので、安全性が心配になる。
- 30代女 BSEや遺伝子組み換え食品など、日本とは基準が違うから。
- 30代女 お菓子などがどぎつい色なので、添加物が気になる
- 30代男 使用している農薬の種類や、土壌汚染に伴う農作物への影響についての情報を得た時
- 30代男 冷凍の肉が凄く臭かった事
- 30代男 ジュース・飲料などの着色料 あまりにも煌々としているので蛍光塗料でも入っているかのように感ぜられた
- 30代男 狂牛病での対応が緩かったときから、不安を感じる。
- 30代男 キツイ色をした菓子。
- 30代男 BSEや遺伝子組み換え商品などで問題のある商品ではないかと思った。
- 30代男 アメリカ産の果物を食べて、蕁麻疹が出た。
- 30代男 アメリカの食品の生産方法を見たとき
- 30代男 果物に農薬を散布しまくっているということをきいたとき。
- 30代男 日本で使われていない添加物が含まれていそうだから。
- 40代女 狂牛病の危険性のある部位を平気で輸出してくる国を信じられますか？私は国産しか購入しませんが...
- 40代女 牛肉、ポストハーベスト
- 40代女 BSEが大きな問題で取り上げられるが、絶対他の問題もたくさんあるはず
- 40代女 お菓子などに着色料がたっぷり使われていることがあるから。遺伝子組み換えのトウモロコシを使ったもの、影響を受けた畑のものがいないか、ちょっと心配
- 40代女 大豆など不安
- 40代男 危険部位でも平気で出してくる非常識さ。また無理矢理日本に買わせようとする横柄さは最低。
- 40代男 アメリカは狂牛病の検査をきちんとしていないし、自分たちの国では禁止している収穫後の農薬散布(ポストハーベスト)を日本向けの果物などにはしているし、大腸菌の入ったフライドポテトを輸入禁止にしたら文句を行ったりする国だから。
- 40代男 検査がずさんなイメージ。牛肉を売ろうとする魂胆。反捕鯨も牛肉を売するための遠回りな戦略ではないかと勘繰る
- 40代男 ゲノムを変えた食材を認めているから
- 40代男 お土産でもらったお菓子の味や色が、とてもじゃないが日本では販売が許可されないようなえげつない味や色だったるとき。
- 40代男 いわゆる狂牛病の騒ぎがあった時。アメリカの農場で、大量に農薬を使った大規模な農場の様子を見た時。
- 40代男 狂牛病、ポストハーベストなどの報道を耳にしたとき。
- 40代男 いいかげんな検査で牛肉を輸出したことは許せない。
- 40代男 個々の食品に対してではなく、生産環境にたいして、持続性のない農業で他国の農業をつぶそうとしていることに危険不安を感じる。
- 50代女 遺伝子操作された大豆やジャガイモなどを大量に生産しているから。遺伝子操作された食品はどんな危険性を持っているかまだ不明だから。
- 50代女 アメリカの国そのものが食の安全に対して日本より緩いと思うから。意識の差が大きい
- 50代女 牛肉に関しての不安があるので、アメリカ産の牛肉は購入しません。また、外食をするときもアメリカ産の牛肉を使用している店には行きません。
- 50代女 牛肉問題の報道以降、アメリカの牛肉を始め、肉類は購入しなくなりました。
- 50代男 例の牛肉問題や日本進出を企む米の安全度
- 50代男 管理が甘い、サンプル検査の統計的検査が多く、抜け落ち心配
- 50代男 例えば、オレンジ、レモンの残留農薬。
- 50代男 添加物の多さや、薬くさいにおいが、したり、不安。
- 50代男 猿に輸入した穀物を食べさせたら障害のある子供が生まれた
- 50代男 テレビでアメリカ農業の薬剤散布・肥料・果実のワックス塗りに見て。
- 50代男 プリオンが問題化した時に骨粉を飼料として飼育された畜産品に不安を感じた。また、ポストハーベスト農薬に不安を感じる。
- 50代男 大豆、小麦などの船荷に大量の薬品が使われている。
- 50代男 防腐剤・防かび剤などが目に見えないので不安
- 50代男 遺伝子組み換え食品を使っているのではないかと、農産物は農薬や保存剤がついているのではないかと
- 60代女 ポストハーベスト
- 60代女 BSEの牛肉問題の時のアメリカのずさんな管理をテレビニュースで見たとき
- 60代男 経済優先で、食料を口に入る物というより工業製品という位置づけが見られる。
- 60代男 輸入牛肉に危険部位が入っていたこととアメリカ自身が日本の基準をはずすように圧力をかけてきていること。
- 60代男 牛肉のBSE問題や、農産物の過度な農薬の使用と輸出時の防腐剤の使用など
- 60代男 管理、国民性がいい加減で無責任
- 60代男 コストコで買ったコーンの缶詰。

強引で適当な牛肉輸出に対する不信感や、農薬(ポストハーベスト)や遺伝子組み換えといった、「(ある意味)進歩的」な技術が食品・食料品の危険につながっている、という認識。

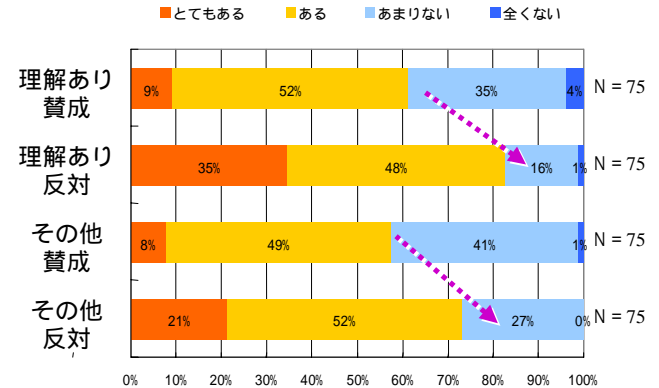
# 国別、食料品 / 食製品イメージ(安全・安心)

日本の食料品の製造企業が、利益を追求するあまり、安全を疎かにしてしまいそうなイメージ



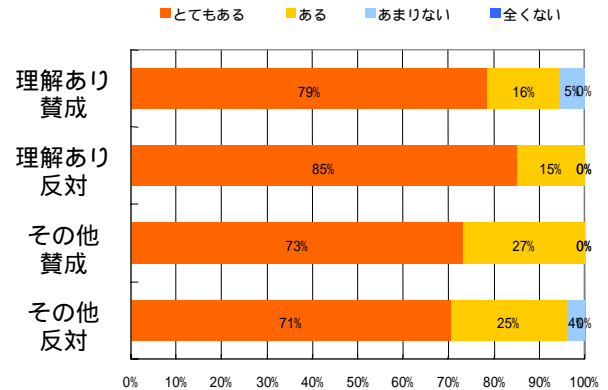
TPP賛否

アメリカの食料品の製造企業が、利益を追求するあまり、安全を疎かにしてしまいそうなイメージ



TPP賛否

中国の食料品の製造企業が、利益を追求するあまり、安全を疎かにしてしまいそうなイメージ



TPP賛否

TPP反対層は、  
米国産の食品企業に対して  
利益を追求するあまり  
安全をおろそかにしそうな危険を  
特徴的強く感じている

- 20代女 大量生産、  
20代女 ずさんなイメージ  
20代女 中国ほどではないが、おそろかにしていそう。アメリカ国内でも、ものはこわれるものと概念があるので、全体的に壊れてもOKだという考えがおおい  
20代女 合理的だから  
20代女 資本主義社会で利益優先のイメージがあるから。  
20代男 せこい  
20代男 儲けるために遺伝子組み換え食品をつかっているから  
20代男 牛肉のBSE問題等から利潤追求のあまり安全性が疎かになっているイメージがある。  
20代男 過去にそういう事件があったから  
20代男 多少のリスクはいとわない  
30代女 所詮アメリカ至上主義だから。儲けるが故に品質改良に努力するということはあるだろうけど。  
30代女 味がおかしいから  
30代女 日本なんて属国くらいに思っそう  
30代女 国内よりも輸出品の管理がずさんそう  
30代女 自国以外のものに対してはおそろかにしてしまうこともありえと思  
30代女 政府とつながる巨大企業なら何をやっていてもおかしくはないと思  
30代女 広大な畑だと農薬を使わざるをえないんだと思  
30代男 利益追求をすれば、どうしても安全性がおそろかになるから  
30代男 会社の存続がかかってくるような事態になると、やむを得ずそうになってしまう事もあると思  
30代男 利益のためなら何でもアリ  
30代男 適当感が見た目からも溢れている。検品自体も甘い事を連想させる製造過程を見てはいないがずさんだろうとしか連想させない  
30代男 何か少しでも安全に配慮していると思えるような報道がないから。  
30代男 利益さえ上げれば勝者という風潮が強いので  
30代男 農業や畜産など非常に商業的な感じがするから  
30代男 大規模工場でベルトコンベアで生産イメージ。検査は甘いと思  
30代男 大規模農業でやっている分、おおざっぱというか、添加物もたくさん含まれているのは...と、国産の品質に釣り合っていないと思  
30代男 アメリカは日本に比べ基準が甘いので、多少安全面が心配。  
30代男 利益第一主義の国だから  
30代男 はてない利潤追求が、安全という足元をおそろかにしている  
30代男 狂牛とかあったね  
40代女 安全を重視していれば、他国に狂牛病の牛を売りつけたりはしないと。だから信頼してない。  
40代女 安全はお金がかかるから  
40代女 安全性というより利益追求の印象がある。  
40代女 大規模生産の結果、細かいところを疎かにするクセがある。  
40代女 ないと信じたいけどニュースで暴露されてるので怖い  
40代女 多く作って多く売るため安全を疎かにしている。  
40代女 たくさん作ってたくさん売ることがメインの考え方と思うから、そこに安全性への配慮がやや欠けることがあると思  
40代男 金のためなら、人間を否定する。  
40代男 アメリカは弱い国には雑なものを平気で売る  
40代男 「儲けた者勝ち」の国である  
40代男 もうけのためならルールも変更するイメージ  
40代男 利益至上主義のイメージが強い。  
40代男 BSEの問題で処理がいい加減だと思ったから。  
40代男 資本主義の権化ですから  
40代男 品質検査がずさんである  
40代男 企業的農業生産が主流  
50代女 利益第一主義だと思  
50代女 合理性、国益を常に最優先する国だから。  
50代女 大きな国なので統制がしっかり出来ていないとかなり難しいし、法の裏をくぐりかねない。  
50代女 手抜き  
50代男 アメリカ、アグリビジネス企業に典型的  
50代男 ただ利益のみ。何でもあり。  
50代男 儲け第一主義だともうから。  
50代男 何が入っているか分からないマクドナルドの国  
50代男 バブル崩壊で世界が大迷惑。  
50代男 アメリカ人の価値基準が日本人より大雑把に思える。  
50代男 利潤追求型社会では当然  
50代男 リーマンショックしかり  
50代男 アメリカ人は道徳的にレベルが低く、利益の追求に走りそうだから  
50代男 コストダウンの優先で安全性は二の次  
50代男 相手国(輸出先)のことをあまり考えていない  
60代女 ごまかすところがある。  
60代女 大量生産、大量販売のイメージが強い  
60代男 輸入検査が甘い  
60代男 利益出さないと株主がこわい  
60代男 何処の国でも利益追求で作るので安く作り高く売りたい。  
60代男 アメリカ社会も日本同様に食品の安全に対する規制があるが、国が大きすぎるため完全にコントロール出来ていないと思

「大規模生産と国際(価格)競争力」にある進歩的イメージは、  
「利益追求」という意味づけが加えることで、「安全・安心」への疑念イメージに転化する。

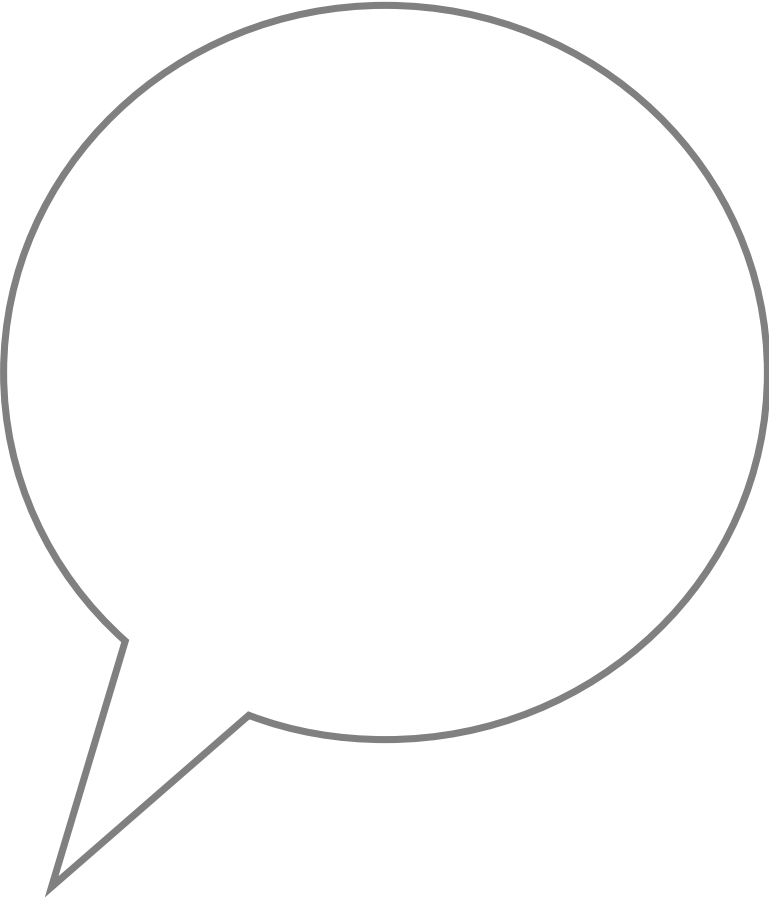
TPP賛成層ほど、アメリカに対して自由と成功のイメージを見出し好感を持つのに対して、TPP反対層は、国際舞台や日本外交におけるアメリカの横暴ぶりを嫌悪し、好感をもっていない。

TPP賛成層ほど、中国など周辺国への警戒心の裏返しから、軍事を中心にアメリカに頼る気持ち(仲良くすべきという意識)が強く、TPP反対層は、これまでの過干渉への反発から、日本は「真に独立すべき」という意識が強く、アメリカに警戒心が強い。

TPP賛成層に比べて、TPP反対層は、どこの国で生産される食品に対しても危険や不安を感じる事が多く、とりわけ、強引で適当な牛肉輸出に対する不信感や、農薬(ポストハーベスト)や遺伝子組み換えといった「(ある意味)進歩的」な技術が食品・食料品の危険につながっている、という認識から、米国産の食品に危険や不安を感じる事が特徴的に多い。

TPP反対層は、米国産の食品企業に対して利益を追求するあまり安全をおろそかにしそうな危険を特徴的強く感じており、「大規模生産と国際(価格)競争力」にある進歩的イメージが「利益追求」という意味づけが加えることで、「安全・安心」への疑念イメージに転化することがわかる。

利益の追求を第一目的にするアメリカの食品業界に対して、  
「勝ち組」のイメージではなく、正しい疑念をもってもらうこと。  
(食品における利益追求 = 成功という、コンテクストを変えること)

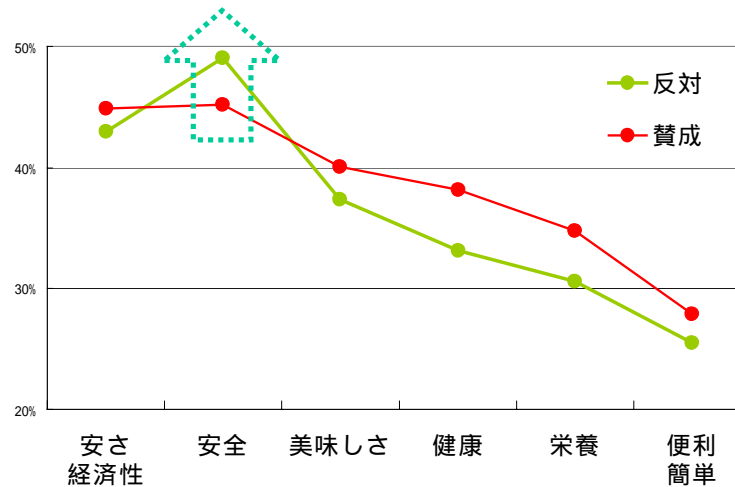


中央酪農会議(当事者)が  
TPPについて語るための  
有効な切り口とは。



## 普段の食品選びの意識

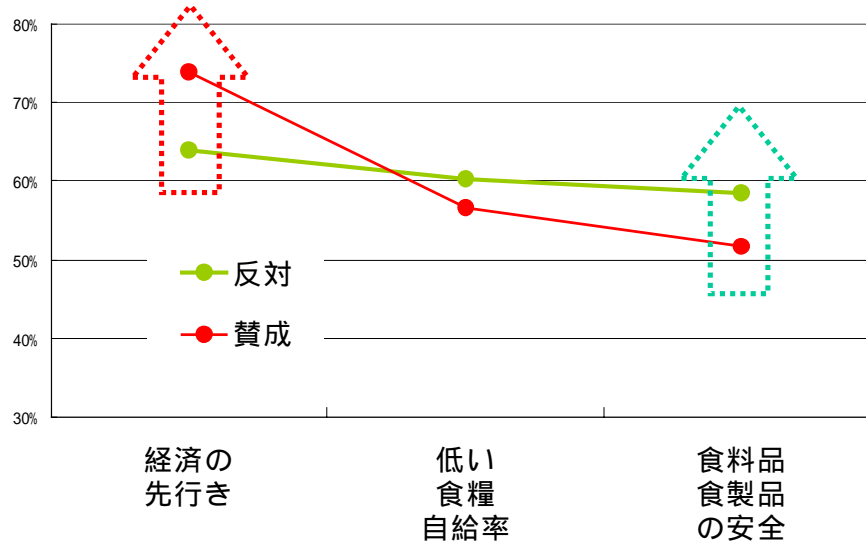
普段の食品選びでは「安さ・経済性」を強く意識する  
 普段の食品選びでは「安全」を強く意識する  
 普段の食品選びでは「美味しさ」を強く意識する  
 普段の食品選びでは「健康」を強く意識する  
 普段の食品選びでは「栄養」を強く意識する  
 普段の食品選びでは「便利さ・簡単さ」を強く意識する



TPP反対層は、TPP賛成層に比べて、  
 普段の食品選びにおいて  
 食品の「安全・安心」を、特徴的に強く意識。

## 普段の問題意識

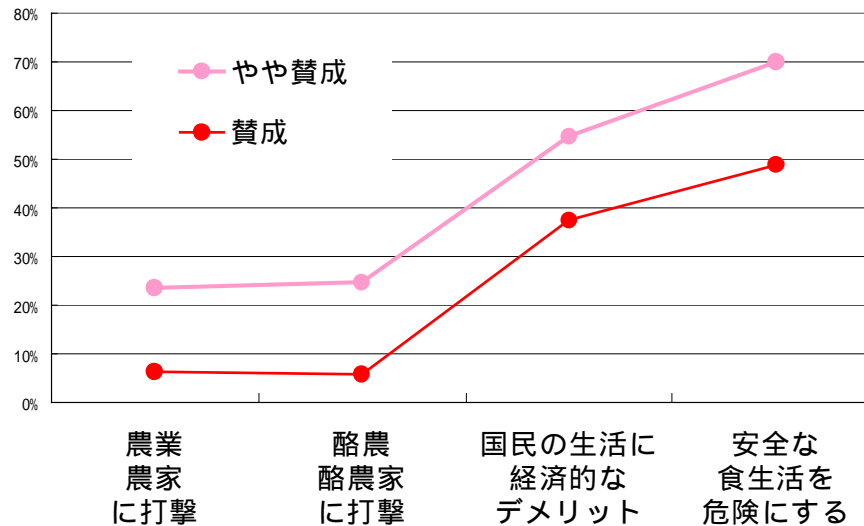
日本経済の先行きが普段から気になっている  
日本の低い食糧自給率が普段から気になっている  
食料品 / 食製品の安全が普段から気になっている



TPP賛成は普段から、経済をより強く意識。  
TPP反対は食品の安全・安心をより強く意識。

## TPP賛成のひとを、TPP否定に態度変容させるテーマ

TPPが日本の農業・農家に打撃を与える場合は、TPP否定  
 TPPが日本の酪農・酪農家に打撃を与える場合は、TPP否定  
 TPPが国民の生活に経済的なデメリットを与える場合は、TPP否定  
 TPPが安全な食生活を危険にする場合は、TPP否定



経済デメリット以上に、食生活の危険は、  
 テーマとして、TPP賛成意識を切り崩す効果が高い。

(まとめ)  
TPPに反対する国民意識を醸成するための戦略要点

TPP賛成層は、全体論、観念論ではなく、  
彼らの欲目・損得と関係する話をしないと聞く耳をもたない。

経済デメリット以上に、食生活の危険は、  
テーマとして、TPP賛成意識を切り崩す効果が高い。

<大規模生産と国際(価格)競争力を武器に>

利益の追求を第一目的としたアメリカの食品業界に対して、  
「勝ち組」のイメージではなく、正しい疑念(安全への不安)をもってもらうこと。  
(食品における利益追求 = 成功という、コンテクストを変えること)

ただ単に、諸外国に追従するのではなく  
日本が自らの強みを戦略的に打ち出すことによる、  
グローバル化については、どちらの層も肯定的。

日本の食品・食料品の強みとして、  
「安全安心」を戦略的に打ち出すことについては、  
TPP賛成層もTPP反対層も肯定的。

TPPに関する生活者意識を、経済問題 / 食料問題(自給率)から、  
身近な食生活の安全問題へとシフトすること。